浜田市スポーツ施設再配置・整備計画(案)に係るパブリックコメント意見一覧

NO	意　　見	市の考え方
1	浜田市ホームページに掲載された「浜田市スポーツ施設再配置・設備計画(案)の東公園陸上競技場の第4種公認の継続と、地盤改良を検討し引き続き公認競技として活用する」という案について賛成します。 ただ、次の事項について検討をお願いいたします。 〇現在スタンドが線路側にあり、100メートル走路が東から西に向けてフィニッシュラインになっており大会において向かい風になることが多く記録更新に影響をきたしている。そのため、スタンドを南側の山側に移設し、西から東に向けた走路になることを希望する。 〇現在の計画では令和15年の3回目の検定に合わせ全天候舗装の競技場に改修するとのことですが、なるべく早い時期での改修をお願いしたい。	ご意見として承り今後の検討の参考とさせていただきます。
2	東公園の陸上競技場を早期に全天候化し，を望む。 ＜理由＞ ・市の中心部にあり，全市民が使用しやすいこと。 ・陸上競技大会は少ない（県内の各陸上球技場も同じ）が，他の競技場と違って日常的に市民や中高生が部活動等で活用している。 ・全天候化することで，天候による使用不能日が少なくなり，さらに市民スポーツが活性化する。 ・以上のことから費用対効果が高く，公認検査のたびに整備のために長期の使用不能期間と費用がかかることから令和15年を待たずに早期の全天候化が必要である。	ご意見として承り今後の検討の参考とさせていただきます。
3	・陸上競技場を残してもらえる事に感謝しています。競技スポーツ(学校の活動も含めて)活動だけでなく一般市民の方が朝～夜まで利用をされているので喜ばれると思います。ゲートが開いている時間は自由に利用(陸上競技場の中を歩くなど)できることが素晴らしいと思います。利用している人のマナーも悪くないと私は感じています。 ・公認競技場の維持と全天候のトラック(令和15)の計画を示していただき感謝しています。地盤沈下が心配されていますが、昔の話で申し訳ないのですが、スタンドが今の場所にない時は地盤の沈下の話は聞いたことがありませんでした。断崖山の岩の上に建物があって、今のスタンドは埋めて土地を作ったと聞いています。スタンドが重いことは関係がないでしょうか。根拠のない話ですみません。せっかく大金をかけて沈下防止策をしてもらっても地盤が下がらないかと心配しています。スタンドを作ると費用がかかるので大変なことだと理解をしていますが私の意見です。	ご意見として承り今後の検討の参考とさせていただきます。
4	〇「計画策定の目的」や「現状と課題」等から、スポーツ施設の見直しの必要性などがよくわかります。計画(案)の策定に尽力された皆様に心から敬意を表しますとともに、計画(案)を推進していただきたいと思います。 〇スポーツは、人間形成という側面からも極めて重要です。島根県西部の拠点である浜田市のみならず、島根県、日本を背負う人づくりに存分に取り組むことができる施設づくりは未来への投資だと考えます。 〇計画(案)の陸上競技場について3つのお願いをお許しください。 ① 陸上競技に取り組む選手にとっては、努力の成果が目に見えることは重要です。現在の100ｍのコースを以前の山側に戻していただき、少しでも良い記録が出やすくしてください。(以前の100ｍコースの向きは、良い記録がでやすい「追い風」になることが多い) ② 令和14、15年に計画されている地盤沈下及び全天候塗装工事を少しでも早く実施していただき、①のとおり、児童生徒等の努力が実るようにしてやってください。(全天候塗装の競技場は良い記録が出やすい) ③ 「計画の位置づけ」に“当計画は毎年度ローリングにより、状況に応じて見直しを行う”とされています。計画(案)の見直しをされた場合は、市民(関係者)に公表してください。以上、よろしくお願いいたします。	ご意見として承り今後の検討の参考とさせていただきます。
5	この度の浜田市スポーツ施設再配置・整備計画（案）を支持したいと思います。 なお、下記の2点につきまして要望をいたしますので、よろしくお願いいたします。 記 １　現在のメインスタンドを以前のように南側（断崖山側）に移設し、西側から東側に向けた走路に変更することを要望いたします。 ２　現在の計画では、2回の検定を受け3回目（令和15年）の検定に合わせ全天候舗装の競技場に改修するとのことでが、浜田市の財政状況は厳しいとは思いますが、浜田市の将来を担う子供たちに夢と希望を与え、また、未来への投資だと考えていただき、なるべく早い段階での改修を要望いたします。	ご意見として承り今後の検討の参考とさせていただきます。

浜田市スポーツ施設再配置・整備計画(案)に係るパブリックコメント意見一覧

6	この度の浜田市スポーツ施設再配置・整備計画（案）により、東公園の陸上競技場は、当分の間、維持改修により第4種の公認を得ることとして、他の大型予算投入時期と調整を図る中で地盤改良を検討し、引き続き公認陸上競技場として活用する。という計画がなされました。 浜田市陸上競技協会といたしましては、従来から東公園の陸上競技場全天候舗装を要望してまいりましたことから、この計画（案）を強く支持したいと思いますが、下記の2点につきまして要望をいたしますので、よろしくお願いいたします。 記 １　現在100ｍは東側から西側に向けてレースを行っていますが、西側から東側に風が吹くことが多く、向かい風のレースとなり、選手にとっては不利な条件となっております。選手にとって風の向きは重要な要素の一つであり、北側（市道側）にあるメインスタンドを以前のように南側（断崖山側）に移設し、西側から東側に向けた走路に変更することを要望いたします。 ※平成31年10月に招待した末續慎吾選手も、「浜田はいい風が吹き、これで全天候型の競技場なら全国から選手か来ることは間違いありません。」と浜田市陸上競技場を絶賛しておられました。 ２　現在の計画では、2回の検定を受け3回目（令和15年）の検定に合わせ全天候舗装の競技場に改修するとのことです。浜田市の財政状況は厳しいとは思いますが、浜田市の将来を担う子供たちに夢と希望を与え、また、未来への投資だと考えていただき、なるべく早い段階での改修を要望いたします。	ご意見として承り今後の検討の参考とさせていただきます。
7	この度の浜田市スポーツ施設再配置・整備計画（案）の東公園陸上競技場の第4種公認の継続と、地盤改良を検討し引き続き公認陸上競技場として活用する、という計画に賛成いたします。また、次の2点につきまして検討をよろしくお願いいたします。 記 １　メインスタンドを以前のように南側（断崖山側）に移設し、西側から東側に向けた走路に変更することを要望します。 ２　現在の計画では、2回の検定を受け3回目（令和15年）の検定に合わせ全天候舗装の競技場に改修するとのことですが、誠に喜ばしいことです。なるべく早い段階での改修を要望いたします。	ご意見として承り今後の検討の参考とさせていただきます。
8	この度の浜田市スポーツ施設再配置・整備計画(案)の東公園陸上競技場の第4種公認の継続と、地盤改良を検討し引き続き公認陸上競技場として活用する、という計画に賛成いたします。また、次の2点につきまして検討をよろしくお願いいたします。 1 メインスタンドを以前のように南側(断崖山側に移設し、側から東側に向けた走路に変更することを要望します。 2 現在の計画では、2回の検定を受け3回目(令和15年)の検定に合わせ全天候舗装の競技場に改修するとのことですが、誠に喜ばしいことです。なるべく早い段階での改修を要望いたします。	ご意見として承り今後の検討の参考とさせていただきます。
9	提示されました案は、現在の浜田市の財政的な事情を勘案しますと、かなり歩み寄られた妥当な案と思っております。 先般行われました『箱根駅伝』では選手が履いていた厚底シューズが話題となっておりましたが、選手の努力もさることながら、環境整備は重要なファクターであります。陸上競技ではゴムのタータンが主流で、浜田のようなアンツーカーの土を使うところはありません。現に、上位記録を狙う選手は近場の広島などの競技場へ練習会場を借りて行っています。中長距離選手を育てるなら未だ分かりますが、それでもその環境整備はお粗末です。 「将来の地域を担う若者を育てる」というビジョンがあるならば、子どもたちが夢を描ける環境づくりを少しでも取り組む姿勢を示す必要があるように思います。その具体的方向が示されていれば、子どもたちに話せますし、指導者も集まってきます。 なお、具体的な措置として、地盤沈下の原因とされている現在のスタンドを元の山側に移されてはどうでしょう。風も追い風になりますし、記録も出やすくなります。	ご意見として承り今後の検討の参考とさせていただきます。
10	運動の必要性を年々感じていたもののジムでのトレーニングではしんどかったり、球技などは経験のない人は簡単に始められません。 その点カーリングは上手な人と下手な人もチームになって試合を楽しむ事もできますし、今後の地域のシニア世代の運動不足の解消や孤立を未然に防ぐ事も出来ると考えます。 広島には冬季のビッグウェーブしかスケートリンクがないため、夏季の練習場には困っています。またフィギュアスケート、スピードスケート、アイスホッケーとの4競技で分け合っての利用のため、1週間に1度から2度しか練習機会がありません。 オリンピックの正式な予選を行う会場として国に施設運営費の助成の陳情をお願いしたりとかはできないでしょうか？	ご意見として承ります。 利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。 また、国に施設運営費の助成の陳情は現状では考えておりません。

浜田市スポーツ施設再配置・整備計画(案)に係るパブリックコメント意見一覧

11	スケート場が無くなってしまうと聞いて先月スケート場の存続についての説明会があって、仕事終わってから行きました。僕は存続のためにどうしたらいいのか、スケート場を利用している方への話合いだと思って参加しました。ところが行って見ると、数年前の答申の評価でスケート場は廃止になっているので決まっています。と言わないけどそんな感じを受ける浜田教育委員会の人達の説明がありました。 そして、浜田市のスポーツ施設の説明が長々とあり、やっとスケート場に関する話合いの時に来られた方が言われてたのが「今日は、皆さんの思い、言っておきたい事を僕にぶつけて下さい」との事でした。 説明に来られた方に、その日忙しい中仕事終わりや、色々時間を合わせて来てくれていたスケート関係の人達に向かって言われて、僕はスケート関係の人をバカにしてると思いました。 結局数年前の答申がもうスケート場は存続しないで、サッカー関連の施設になりますと決まっていていくら今色々言っても変わりません。浜田教育委員会はちゃんと丁寧に話合いの時間もとりました。仕方ないですよって言う態度がすごく腹が立ちました。 よく聞けばその答申を決めるにあたり評価する大事なメンバーにスケート関連の人がいない中での評価と聞きました。そんな不平等な評価を答申としておいていいのでしょうか？ その事にはいっさい触れずに話を進めてしまう。 この東西に長い島根県にスケート場が二つもある。 近隣の県ではスケート場を作りたいが費用がないと断念する県もあります。 確かにその日の説明会でスケート場の維持費用、製氷機の機械的費用、利用者の減少による収益減少の説明がありました。でも費用がないならもっとスケート場に人が来るように宣伝をする。 浜田市にスケート場がある、やってますよのアピールをしない。 市内市外の小、中、高にもポスターや親子レクリエーションの利用、気軽に体験が出来る教室 平日の利用者確保のための料金プラン デートなどの利用でアクアスとのコラボ料金プラン サッカー関連の人達が通年利用したとしてもスケート場として利用者が多ければ短期間の使用で利益がある。今稼動中の機械が使用出来る間に対策もしないままスケート場が無くなる事をただ待っているように思います。 今の内にスケート場存続のための行動を起こして、今の子供達が気楽に楽しめて、スケートが好きになって興味を持つ事になって経験が出来る。 スケート場がある事によって人生の選択肢が増る。 スケート場がある事によって他県からのフィギュアスケート関係、カーリング関係の人達が浜田市に来る。 近年は雪山に雪が降らず、スキーが出来ないので天候に左右されずに出来るスケート。 サッカーの施設はどこにでもあり、今のスケート場を廃止にしてまで作る必要性はない。 説明会の時も借りている時間がないと言って説明会を終了するし、それでちゃんと説明したと言えるのか。 スケート場の廃止がまだ正式に決まってない今の内に存続の方に変わって、未来ある子供達の発展に貢献してほしいです。 スケート場は絶対に必要な大事な施設です、やり方によってはお荷物から宝物そして財産になるものです。 どうか、スケート場をなくさないで下さい。よろしくお願いします。	説明会において不愉快な思いをさせてたことに関しお詫び申し上げます。 その他はご意見として承り、利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。

浜田市スポーツ施設再配置・整備計画(案)に係るパブリックコメント意見一覧

12	サン・ビレッジ浜田が多目的室内広場になると聞き、意見させていただきます。 浜田市スポーツ施設再配置・整備計画（案）（以下、「素案」と呼ばせていただきます）を拝見いたしました。 素案によれば、サン・ビレッジ浜田は平成27-29年度の3年連続で10,000人以上の利用者がおり、市内でも有数の人気施設と認識しております。平成30年度こそ利用者数減となっておりますが、平昌五輪で女子カーリングチームが銅メダルを獲得したことによるブームで平成31年度（令和元年度）は10,000人を超えるものと推察します。また今後も利用者は増え続けるはずです。 素案に記載された施設再配備・整備の基本的な考え方には100%同意いたします。 高齢者をはじめとした多様なスポーツニーズに対応することは医療費の抑制に大きく寄与します。カーリングは生涯スポーツとして最適と考えます。 また、規模の大きい大会の誘致という面におきましても、西日本で一番のカーリング施設であるサン・ビレッジ浜田の存続は大きな意義があります。 アイススケート場としての利用廃止の直接的な要因として、施設の老朽化と環境への配慮との記載があり、これには同意せざるを得ません。しかし、素案にも記載の通り、最近では全国で公民連携の取り組みが増えており改修費用を全て税金で賄う必要はないかと存じます。 現状、九州のカーリング選手が軽井沢や山梨に練習・試合に出向くこともよくあると聞いております。 民間の力を最大限活用し、サン・ビレッジ浜田を新しいカーリング施設として再整備することで、より多くの潜在的な需要を取り込み観光産業の柱として期待できます。 また、2018年の平昌五輪、2022年の北京五輪で韓国および中国でもカーリングはブームとなっております。将来的にはパシフィックアジア選手権を開催するなど、海外からの選手・観光客を含めたより大きな利益も見込まれます。 ぜひ再考いただきたくお願い申し上げます。	ご意見として承ります。 利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。
13	ぼくは、小2で、フィギュアスケートを、やっています。ひろしま市にすんでるけど、大おばちゃんが、はま田市に、すんでいるので、やすみの日とかとまりにいって、サンビレッジでれんしゅうします。 　サンビレッジははじめて大会にでたとこです。なくなったらさびしいし、れんしゅうするところが、ちょっと少なくなるとおもいました。 　ぼくは、スケートれんしゅうを、いっぱい、するので、サンビレッジがなきなったらちょっと、大おばちゃんにも会えないかもしれないです。ぼくは、「サンビレッジがずっとあったら、いいなあ！」と、おもいました。	ご意見として承ります。 利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。
14	サンビレッジ浜田スケートリンク存続のお願い 　子どもが小さいとき、お世話になりました。この辺りでは、スケートリンクの開場時期が短く、リンクの数も少ないので、練習場所の大切な場所です。サンビレッジ浜田スケートリンクの存続を希望いたします。	ご意見として承ります。 利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。
15	私はスケート場を存続させてほしいです。なぜなら、浜田市、江津市では、アクアスまでは駅から徒歩で行けるのですが、スケート場まではアクセスがないため、中学生が行きたくても、親に車で送ってもらわなくてはいけないんです。 　私の周りの友達もスケート場を利用したいという人が多いです。 ただ、アクセスが無いので簡単にはいけません、もっとバスとかスケート場までのバスや特別なタクシーのチケットがあれば利用する人が必ず、増えると思います。私自身も、中学生なのですが、個人では行くものの、友達といけません。そんな改善を行えば、もっと人が来ると思います。それからもっと、宣伝をしてほしいです。街にポスターをたくさん貼ったり、たくさんポスターを配ったらいいと思います。私は浜田でスケートが出来る事がとてもほこりに思っています。これからもスケート場を続けてほしいです。	ご意見として承ります。 利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。
16	サンビレッジ浜田アイスリンク存続 　毎週週末に、島根県カーリング協会主催のカーリング練習会に参加しています。広島のカーリング練習はサブリンクのため、正式のカーリングシートの長さはなく、いつも浜田の練習会で正式リンクの長さを体験しています。親子共々、浜田での練習会を楽しみにしています。 　サンビレッジ浜田アイスリンクの存続の件ですが、存続していただけたら有難いです。資金面の件等で難しいと新聞等で知りました。 カーリングやアイススケートを体験するために、浜田市に宿泊したり、島根県観光の一部としてカーリングやスケートを取り入れたりはいかがですか？なかなか難しいかもしれませんが・・・浜田市の発展を応援しています。	ご意見として承ります。 利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。

浜田市スポーツ施設再配置・整備計画(案)に係るパブリックコメント意見一覧

17	サンビレッジ浜田アイスリンク存続 　サンビレッジ浜田アイスリンクは、カーリングの練習・大会に使い、とても大切な存在です。フルシートのきれいな氷で練習することができ上達の手助けにもなっています。ぜひ、アイスリンクを存続させてください。	ご意見として承ります。 利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。
18	これまで広島のリンクがプールになる4月後半から浜田のリンクをずっと使用させて頂いておりました。広島から1番近くでもあり、高速からもすぐなのでとても便利でしたが浜田のリンクがなくなるという噂を聞いてとても残念に思っておりました。浜田のリンクが無くなると2時間かけて岡山に行かなければならず、平日学校が終わってから練習するにはとても厳しい状況です、一生懸命日々、真摯に練習している子供たちのために、少しでも練習時間が増えることを願い浜田のリンク存続を願ってやみません。どうか願いを聞き入れていただきますようよろしくお願いいたします。	ご意見として承ります。 利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。
19	島根県は通年リンクがなく、春からの練習の場の確保に大変苦労しています。他県の選手と競っていく上でも、夏場、県内に少しでも長く営業しているリンクがあればと強く願っています。是非、サンビレッジ浜田スケート場の存続をお願いいたします。	現在の冷凍機では通年営業は困難です。 ご意見として承り、利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。
20	私はスケートが大好きなのでもし、なくなってしまったらすごく悲しいです。どうしてなくなってしまうんですか？	ご意見として承ります。 利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。
21	スケート場の存続をお願い致します。孫と一緒にスケートを楽しんでいます。都会に出ている子供たちも帰省した際には家族皆んなでスケート場に行き楽しませてもらっています。私のまわりでも、スケート教室に通わせたいと思っている家族もおられます。	ご意見として承ります。 利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。

浜田市スポーツ施設再配置・整備計画(案)に係るパブリックコメント意見一覧

22	サンビレッジ浜田のスケート場を存続させて下さい。いつだったか・・・「あと2年でサンビレッジ浜田でスケートが出来なくなるんだって。」と聞いて愕然としました。「もう決まったことだから仕方ないんだって。浜田市はお金がないんだって・・・。」誰が決めたのですか？どうしてですか？何故反対できないのですか？と、ずっと思っていました。 サンビレッジ浜田のスケート場の廃止を聞いて残念で仕方ありませんでした。娘達がスケートを始めたきっかけは幼稚園で配られたスケート場のプリントでした。最近はそんなプリントも見かけず、スケートのチラシやポスターなども見かけなくなり、友人からもスケート場ってまだやっているの？と聞かれることも度々ありました。どうしてもっとしっかり宣伝をされないのでしょうか。これでは、利用者が少ないはずです。利益を上げるためにできることは色々とあったはずです。どうして何もされないのでしょうか？昨年度も今年度も、氷が作れるのか不安を抱える中でのスケート場のオープンでした。浜田市はどうしてスケート場を助けてくれないのですか？誰がスケート場を廃止すると決めたのですか？廃止が決定したスケート場を、管理者の方々が盛り上げていくことができると思いますか？教育委員会の方は、どういうつもりなのでしょうか？ 一生懸命練習をしている子供たちもいます。スケートをしたことがなくて、やってみたいと思っている子ども達もたくさんいます。もっと気軽に体験できる機会を作るべきだと思います。若い人だけではなく、お年寄りだって滑りに来られています。いつも思うのですが、スケート場に行く方法が無さすぎると思います。どうして駅から遠いのにバスを出さないのですか？中学生や高校生、大学生、お年寄りなど、車の無い方々のスケート場に行く方法が無いのはおかしいです。バスが無理なら行き先がスケート場の人が最寄りの駅からタクシーを使用したら安くいけるような制度を作るとか、何かしら方法はあると思います。やってください。浜田市にスケート場がある事を(アクアスや湖遊館みたいに)もっともっとアピールをして、施設も使いやすくして、どんどん儲けがでるようにしていく努力をしていかないといけないと思います。 羽生結弦さんや浅田真央さん達のお蔭でスケートは流行ってきているのになんてもったいないことをしているのかと思います。どうして子ども達の夢や希望を壊してしまうようなことをされるのでしょうか。せっかくスケート場があるのに、なぜ生かそうとしないのでしょうか。カーリングも流行ってきているのに、アピール不足だと思います。浜田市でカーリングの大きな大会もしています。浜田市、江津市、島根県のどれだけの人達がそれを知っているでしょうか。 スケート場の廃止を決めたのはスケート関係者がいないところでの決定だったとお聞きしました。どういう事でしょうか？それはありえない事だと思うのですが、どうしてそれが通るのでしょうか？教育委員会の方は、この前、スケート場の廃止は決定ではないとおっしゃっておられたみたいですが、色々な新聞でサンビレッジ浜田のスケート場の廃止は決定みたいに書かれていましたがどちらが本当で、どうすれば早く機械を新しくして存続していただけるのでしょうか。浜田市で続けるのは無理なら島根県にお願いするとかはできない事なのでしょうか。どうかスケート場を無くさないでください。スケート場はデートできる場所でもあります。色々なイベントをするのもいいと思います。平日の昼間なら学校関係でどんどん使ってもらって、浜田市や江津市の子ども達が毎年1度はスケートの体験ができるようにするとか、親子活動やクラス活動などで使ってもらえるように、上手にアピールしていくといいと思います。平日の昼間に家におられる人をターゲットにした、金額を安くした大人の初心者向けの教室をしてもいいのではないでしょうか。平日の昼間も、どんどん使ってもらえるようにもっと色々とするべきだと思います。発信していかないとダメだと思います。待っているだけではダメだと思います。子ども達もスケート教室や石見スケートクラブの先生は広島県から来て下さいます。初心者向けに教えられるスタッフをもっと増やして、もっともっとスケートを浜田市、江津市の市民の身近なスポーツにしていくべきだと思います。このままでは、もったいないと思います。利益がでるようにもっとやることがたくさんあると思います。製氷ができるスタッフも増やすべきです。スケート場を無くすのは絶対に反対です。どうぞよろしくお願い致します。	ご意見として承ります。 利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。
23	冬季オリンピック競技で人気競技となったカーリングですが、このカーリングの西日本選手権等をはじめ西日本エリアでの主要な大会すべて当施設で開催しているのが現状で、カーリング競技においてサンビレッジ浜田は西日本エリアで最も重要な施設となっています。近隣の広島県からもカーリング競技者が毎週練習に来ておられます。広島県の競技者レベルの向上もサンビレッジ浜田があったからこそで間違いありません。他のオリンピック競技において西日本レベルの大会が毎年浜田で開催されるという事がありますでしょうか？おそらく無いと思います。地元にサンビレッジ浜田という他のエリアにはない唯一無二の施設があったればこそ、私も日本選手権まで出場できる技量が身につきました。カーリングは子どもから大人まで親しんでもらえるユニバーサルスポーツです。特に子ども達、次世代のアスリート達に是非この素晴らしい環境を残してほしいと思います。もしサンビレッジ浜田の冷凍機を更新し、西日本エリアでもほとんどない通年営業化することができた場合、少なくとも広島ビッグウェーブと湖遊館が閉館する期間においては特に、市外・県外からの合宿利用を含む占用利用が相当見込まれ、スポーツ振興に大きな影響をもたらすだけではなく、必然的に観光交流もあると思います。また、地元に対しては教育の一環としてスポーツに親しむ時間を小中高生に教育委員会から働きかけ頂き、スケート場利用へのきっかけを作っていただければより良いのではないでしょうか。私もカーリングの日本スポーツ協会公認コーチです。お声がけくだされればいくらでも指導させていただきます！「廃止ありき」ではなく、まずはオリンピック競技種目の日本選手権まで出場できるアスリートが現に育つ施設であるということ、そして次の世代に残すべき浜田圏域だけではなく西日本でも有数の有用な施設であるという事を熟慮していただきたいと存じます。	サンビレッジ浜田がカーリングの西日本エリアで重要な施設であることは認識しております。 また、現在の冷凍機では通年営業は困難です。 その他はご意見として承り、利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。

浜田市スポーツ施設再配置・整備計画(案)に係るパブリックコメント意見一覧

24	浜田市スポーツ施設再配置・整備計画案を拝見し、サンビレッジ浜田を長年に渡り利用させて頂きました立場で、思いを伝えさせて頂ければと思います。 カーリングを始めた場所がサンビレッジであり、広島県協会を立ち上げる前は島根県協会員として、チーム島根の代表として西日本選手権などに出場しておりました。サンビレッジへのカーリング導入のおりには、オリンピック代表選手にもお越しいただき、西日本の中央部に当たるサンビレッジ浜田は、オリンピックや世界選手権につながる西日本選手権など、主要大会を現在も開催させて頂いております。費用対効果や類似施設の統廃合は考慮致すべきと思いますが、唯一無二の存在であるリンクが無くなることは、冬季オリンピック競技であるカーリングやフィギュアスケートなどの練習拠点としての損失は大きいものと考えます。むしろ近年国内各地に増えている、カーリング専用リンクを併設したスケートリンクに改修し通年化することにより、利用者増や宿泊施設や飲食施設への経済波及効果も考えられるものと思います。夏の競技同様、公平性の点からも冬季競技の西日本の拠点としてのサンビレッジ浜田の発展存続を願うものであります。	サンビレッジ浜田がカーリングの西日本エリアで重要な施設であることは認識しております。 その他はご意見として承り、利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。
25	広島でフィギュアスケートの選手をしています。8年前からサンビレッジ浜田のスケートリンクを利用させていただいていました。広島には通年リンクがなくシーズンオフには片道2時間半かけて岡山に通わなければいけません。広島から1時間で行ける浜田で練習ができれば移動の負担も減り練習量も増やすことができます。 近年のフィギュアスケート人気で京都や大阪ではリンクが新設されています。そんな中、中国地方では通年リンクが少なく厳しい練習環境です。 サンビレッジ浜田の再開を心待ちにしております。できれば通年リンクにしていただきたいです。 ご検討よろしくお願いします。	現在の冷凍機では通年営業は困難です。 その他はご意見として承り、利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。
26	この度のスポーツ施設再配置・整備計画（案）について意見させていただきます。 広島在住なので、練習は広島で、と思われがちですが、実際はそうでもありません。浜田市にあるサン・ビレッジ浜田アイススケート場でも練習を積んできました。サン・ビレッジ浜田は広島と違い、正規の長さのシートが4シート確保出来るので、人数がいても十分な練習を積むことが出来ます。また広島市近郊からも近く、平日夜間での利用も可能です。 今は冬季限定とはいえ、カーリングが出来る施設というのは西日本では少数しかなく、その中でサン・ビレッジ浜田は西日本カーリング界における最重要で、全国大会に繋がる西日本カーリング選手権を執り行える唯一の施設です。 カーリングは今、一般四人制男女・ミックスダブルス・ミックス４・シニア男女と複数の全国大会に繋がる種目がございます。これらの西日本代表を決める大会すべてがサン・ビレッジ浜田アイススケート場にて執り行われてきました。 また広島県カーリング協会としても、広島県カーリング選手権の開催はサン・ビレッジ浜田でしか行えないと考えております（施設状況の兼ね合いから叶いませんでしたが、実際2019年も開催予定でした）。他にも可能であれば非公式ではございますが、施設を利用したカーリング大会の開催も検討しております。 もしここが無くなるとなれば、私たちは実質カーリングをする場所がなくなったも同然と言えます。また広島県カーリング協会に限ってではございますが、平昌五輪でのカーリング日本代表の活躍もあって、競技人口が倍以上増えています。二年後には北京五輪も控えており、ここでまた競技人口は増加することが予想されます。となりますと、必然的に使用者人数の貢献にもつながるのではないでしょうか。　もちろん、他の競技に比べたら、微々たるものであることは理解しております。しかしながら、カーリングに限らず、氷上競技の注目度は上昇しているにも関わらず、現状アイススケート場が足りていません。 浜田市内にたくさんの施設がある中、様々な条件・状況・考慮すべき事案等、検討事項が多々あることも承知しております。ただその多くの施設の中で、少なくともサン・ビレッジ浜田はカーリングにとって県大会以上の大きな大会を開催出来る施設です。 また通年営業もご検討いただけたら、カーリングに限らず、広島県からその他氷上競技団体も使用を検討すると考えられます。実際広島市唯一のスケート場であるひろしんビッグウェーブは夏季営業がありません。広島に所属する氷上競技団体は夏場の練習場所の確保に苦慮しながら競技を続けています。 それを踏まえてもサン・ビレッジ浜田は浜田市だけでなく、広島の氷上競技団体にとっては最重要施設なのです。 どうぞ存続のご検討をよろしくお願い申し上げます。	サンビレッジ浜田がカーリングの西日本エリアで重要な施設であることは認識しております。 また、現在の冷凍機では通年営業は困難です。 その他はご意見として承り、利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。

浜田市スポーツ施設再配置・整備計画(案)に係るパブリックコメント意見一覧

27	私は昨年からサンビレッジを利用しています。昨月、サンビレッジフェスタに参加する機会がございましたが、たくさんの家族連れ、子供たちの笑顔に触れることができました。 アイススケート場として、冬季スポーツ振興の拠点となる施設があることは、子供たちの冬季における体育や教育であったり、イベントを通した広島県など県外からの利用促進といった、魅力的なまちづくりに繋がります。そうした機会を増やしていけるような工夫は、行政と市民とで協力していくべきですが、一方で拠点を失うことは、そもそもの機会を得ることもできない、大きな損失となるのではないかと考えています。 浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進のなかにもございますが、観光・交流の推進から活性化に繋がるためにも、存続について、改めてご検討いただければと存じます。	ご意見として承ります。 利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。
28	小さい頃から、サンビレッジ浜田のリンクさんにはお世話になっております。 中国地方に通年リンクが岡山にしかないため、広島の選手だけでなく、島根や山口の選手は夏場は大変な思いをして練習環境を確保しています。 そんな悪環境の中でも、「スケートがしたい！」という一心で子供たちは頑張っております。もし、サンビレッジ浜田のリンクの通年利用を協議して頂けたら、喜ぶ子供たちが大勢います。 収益確保のため、各競技団体（フィギュア、カーリング、ホッケー）や学校等の団体利用の周知の徹底、サンビレッジ浜田杯の復活や、WEBやマスコミの活用、他観光施設のコラボイベント企画など、収益アップにつながる施策も協議いただくなど、サンビレッジ浜田が「新たな浜田市のスポーツ＆観光の拠点」になることを強く願います。	現在の冷凍機では通年営業は困難です。 その他はご意見として承り、利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。
29	カーリング施設としてのスケート場の存続について 標記について、カーリングファンの立場から意見を申し上げます。 要点は次の２つです。 １．サンビレッジ浜田アイススケート場は、カーリング公式大会が開催できる西日本随一の施設 ２．カーリング場は今や、交流人口増大と経済波及効果をもたらす重要なインフラ 私は平昌五輪の後、カーリングの試合を現地で観戦するようになった、いわば「にわかファン」です。 この２年間で主要大会が開催された常呂・札幌・軽井沢等の会場を訪れ、テレビでは味わえない、生のカーリングの試合の迫力を楽しんできました。 また、大会観戦を目的に普段訪れることの無い街で、郷土料理や地酒を始めとする土地の魅力に触れることも楽しみで、今ではカーリングとどちらが主目的なのか分からないくらいです。 カーリングの公式大会はカーリング専用施設だけでなくスケート場でも開催可能ですが、氷面の広さや長さなど一定の条件があり、これを開催できる会場は限られています。 そして、主要なカーリング大会には平昌五輪以降、私のような観戦者が多数押し掛けるようになっており、決勝トーナメントの入場券はプラチナチケットと化しています。 また、日本のカーリング選手は海外でも人気があり、国際大会ともなれば、韓国や中国からの観戦者の姿がスタンドで見られます。 浜田市は「ひと・まち・しごと創生総合戦略」の基本目標の「いの一番」に「宿泊客数」、その次に「合宿等誘致人数」を挙げています。また、目標実現のために「お宝観光資源」やイベントの活用をうたっています。 その浜田市が「スポーツ施設再配置・整備計画案」の中で、西日本における主要カーリング大会の多くを開催してきたサンビレッジ浜田アイススケート場の廃止を打ち出したのは、それなりの背景があろうことと思います。	サンビレッジ浜田がカーリングの西日本エリアで重要な施設であることは認識しております。 その他はご意見として承り、利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。

浜田市スポーツ施設再配置・整備計画(案)に係るパブリックコメント意見一覧

	しかし、今やカーリングは国民的な人気スポーツであり、その公式大会を開催できる施設は交流人口増大と経済波及効果をもたらす重要なインフラとなっています。北見市（北海道）のように、国の地方創生拠点整備交付金で新しいカーリング専用施設を整備するところもあるくらいです。 　また、合宿の誘致においても、公式大会基準を満たす施設は限られており、サンビレッジ浜田アイススケート場は西日本随一の施設であることから、圧倒的な優位を有しています。 　この際、廃止の方針を「西日本のカーリング聖地」を目指すことに転換し、地域とカーリングファンのwin-winの関係がスケート場を通じて構築できるようにしていただくことを強く望みます。 　聖地を目指すに当たっては、日本選手権やパシフィックアジア選手権等の主要大会を誘致し、ぜひ開催を実現してください。	
30	サン・ビレッジ浜田アイススケート場について、多目的室内広場へ用途変更し活用を図るとある。しかし、これは「スポーツ施設などの地域特性を生かし、大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿等の誘致により、利用促進に努めるとともに、観光産業の振興にも繋がる交流人口の拡大を図ります」との浜田市スポーツ施設再配置・整備計画 （案）自身と矛盾している。 多目的室内広場は日本中のどこの自治体にもある。加えて、民間企業でさえ所有している場合もある。その様なありふれた多目的室内広場を利用する際に、あえて浜田市を選ぶ理由はほとんどない。しかし、スケート場であれば他県からの利用も見込める。 また、この整備計画では浜田市のスポーツ人口などについて詳しく述べられている。しかし、「観光産業の振興にも繋がる交流人口の拡大を図ります」と考えるのであれば、少なくとも島根県や中国地方全体を考慮に入れなければならない。 つまり、浜田市スポーツ施設再配置・整備計画 （案）は全体として整合性が取れていない。計画の根本的な目的に則して整備計画を考えるのであれば、サン・ビレッジ浜田アイススケート場について継続運営をするべきである。	P21の基本方針以降で示している内容は今後維持活用する施設についての方針を示しており、矛盾や整合性が取れてないとは考えていません。
31	サンビレッジ浜田スケートリンク存続希望 　広島には通年リンクがありません．4月半ばにリンクが閉まってしまうと氷を求めて倉敷へ、岡山へと移動に大変な時間がかかり親子共々疲れ果ててしまいます．学校が終わって二時間半もかけて岡山へ通う生活が始まります．往復5時間です．しかし、幸い浜田のリンクが6月初めまで営業して下さるお陰で短時間で練習に行くことができ大変助かっていました．広島から1時間少しで行けて遅くまで一般で滑らせて下さるので、学校が終わってから気軽に練習に行くことが出来ました．浜田リンクの貸切が取れる一か月半が非常に有難いです．子供達の体が楽なのです．岡山から深夜12時、1時に帰宅する生活を少しでも減らしてやりたいです． 浜田リンクの製氷機の具合が悪いと聞き来シーズンは開くのだろうか、閉館になったらどうする！と保護者の間で不安な声が上がっていました．今回閉館が決定ではないと知り、私達の声が届きリンク存続のチャンスがあるのならば、子供達のために是非是非スケートリンクを残して頂きたくお願い申し上げます．	ご意見として承ります。 利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。
32	カーリング歴9年になります。冬のシーズン中、サンビレッジ浜田には、練習や西日本大会、オープン大会に参加し、利用させて頂いております。私がカーリングを始めたのは40代後半になってからですが、50代後半になった今でも若い人達と一緒に競技を楽しんでいます。カーリングは、老若男女の幅広い層が対等に楽しめる格好のスポーツです。しかしながら、国内ではカーリングの競技人口は圧倒的に北海道・東北・長野等の東日本に隔たっており、西日本での競技人口は少ないのが現状です。その大きな要因のひとつとして、西日本に通年で使用できるカーリング専用シートがなく、環境が整備されていないことが挙げられます。一昨年の平昌オリンピックでメダルを獲得したカーリング女子チームのロコソラーレは北海道の北見市常呂町を本拠地としていますが、常呂町はカーリングの黎明期からカーリング場を整備し、今やカーリングの町としてのブランディングに成功しています。おそらくカーリングでの町おこしがなければ常呂町は全国に知られることはなかったでしょう。サンビレッジ浜田は、西日本では数少ないカーリングのできる施設であり、常呂町のように浜田市に通年のカーリング専用施設が整備されれば必ずやカーリングの町としてのブランディングが達成されるものと思います。そうなれば、中国地方のみならず西日本の大学・企業等にカーリングの部やサークルが創設され、オリンピックに出場するような選手も輩出されることが期待されます。また、いつでもカーリングができる場所ができれば、子供から高齢者まで気軽に練習や試合を楽しむことのできるサロンにもなると思われます。国際基準を満たす施設が整備されれば、国内のみならず世界的にもカーリングの町として確固たるブランドを形成できると確信します。浜田市が、西日本の常呂町となることを願ってやみません。是非ともご検討頂ければありがたく存じます。	現在の冷凍機では通年営業は困難です。 その他はご意見として承り、利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。

浜田市スポーツ施設再配置・整備計画(案)に係るパブリックコメント意見一覧

33	○サンビレッジ浜田の存続について 　サンビレッジ浜田を拠点に活動しています。島根県協会では、協会主催での練習会をサンビレッジ浜田で開催しています。練習会には島根県だけでなく、隣県の広島県からも多くの方が訪れ、多い日は20名以上の参加者で賑わっています。練習頻度も昨シーズンは月2回でしたが、今シーズンは週1回に増やし、選手のレベルアップを図っています。カーリングの西日本選手権は毎年サンビレッジ浜田で開催されています。この大会は日本選手権やオリンピックにつながる非常に重要な大会です。年々参加チーム数が増えており、競技レベルも少しずつ上がってきています。西日本にはカーリングのできる施設はありますが、シートの長さ、数などの関係から、公式戦のできるリンクは浜田のみです。ここがなくなってしまうと、西日本のカーリング選手は軽井沢や北海道など遠方に出かけ、選手権を行わなければなりません。選手にとって、日程的にも金銭的にも厳しくなり、参加チームの減少による大会規模の縮小が懸念されます。また、西日本の代表を決める大会を西日本でできなくなる、というのは非常に悲しいことです。 　カーリングを多くの方に楽しんでもらうために、体験会やレクリエーションも行っています。これらがきっかけで、島根県でのカーリングの競技人口も少しずつ増えてきています。また、昨年末にはフィギュアスケートとカーリングのコラボイベントが開催され、子供から大人まで多くの方にカーリングを楽しんでいただきました。 　サンビレッジ浜田は島根県だけでなく、西日本のカーリング選手やカーリングを楽しみたい人にとって必要な施設です。それは、スケートなどほかの競技でも同じだと思います。私自身、大学時代、北海道でカーリングを始めましたが、地元に戻ってきても競技を続けられているのはこの施設があったからだと思っています。これからもサンビレッジ浜田を拠点とし、地元である島根県の方にカーリングの楽しさを知ってもらえるような活動をしたいと思っています。サンビレッジ浜田の存続についてご検討いただけたら嬉しく思います。	サンビレッジ浜田がカーリングの西日本エリアで重要な施設であることは認識しております。 また、その他はご意見として承り、利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。
34	私たち広島の選手は夏場はビッグウェーブがクローズするので、岡山のリンクに行って練習しています。 平日は学校が終わって17時頃集合してコーチの車で2時間かけて岡山のリンクに行き、1時間半滑って、2時間かけて帰ってきます。 だいたい12時までには広島に帰れますが、貸切時間が遅い日は夜中の1時を過ぎることもあります。学校が遅い日は新幹線で行きます。 土日は、中国地方の選手たちが岡山に集中するので、一般営業の時間はギュウギュウ状態で練習しています。 サンビレッジ浜田のリンクが廃止されると聞いてとても悲しかったです。 もし、サンビレッジ浜田が通年リンクになったら、夏場は浜田に行って練習できるので、廃止しないで欲しいし、通年リンクにしてほしいです！ よろしくお願いいたします。	現在の冷凍機では通年営業は困難です。 その他はご意見として承り、利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。

浜田市スポーツ施設再配置・整備計画(案)に係るパブリックコメント意見一覧

35	○現状における評価 ・サン・ビレッジ浜田アイススケート場は、県西部唯一の施設であるだけでなく、県内でも2カ所、中四国地方でも8カ所のうちの一つの施設であり、日本スケート連盟の選手強化拠点施設にも指定されている貴重な資源である。 ・数年前からは市や管理団体のご理解とご協力により、5～6月にかけて特別に期間を延長しての利用が可能となっているが、この期間は、県内のもう一つの施設（出雲市　湖遊館）は閉館しており、中四国地方でも倉敷、岡山の施設とこの施設だけが利用可能であり、愛好者や競技者が集まってきている。 ・また、スケートの愛好者や競技者の半数以上（７～８割）は幼児、小中学生、高校生であり、次世代を担う子ども達の貴重な居場所や経験、育ちの場となっており、子育て支援や青少年健全育成の面でも存続が望まれる社会資源である。 ○P20「施設再配置・整備の基本的な考え方の視点」について ・「老朽化の度合い」：冷凍機については故障やフロンガスの問題から更新の必要性はあるもの、施設自体はH8建築であり、継続利用に問題はない。 ・「利用状況」：H30年度は10，000人を下回ったものの、基本的には10，000人を上回っており、他の施設に比べて引けを取るものではない。教室、大会、合宿、イベント等の開催により利用者の増加は見込める。 ・「用途別の施設数」：前述のとおり中四国地方でも希少な施設である。 ・「立地のバランス」：山陰道のICに近く、市外（県東部）や県外（山陽方面）からのアクセスがよく、市外からの流入人口の拡大に寄与している。 ・「避難施設としての位置づけ」：夏季営業を行うことで避暑機能を活かした猛暑対策となる。 ・「今後の人口推移」：前述のとおり、子育て支援や青少年健全育成の視点では少子化対策にも効果的な施設である。 ・「財政事情」：施設本体は大規模な修繕は不要であり、冷凍機の更新のみである。 ・「多世代」：カーリングも含め、幼児から高齢者まで、家族での利用も含め、多世代で利用されている。 ・「多種目」：スケート、アイスホッケー、カーリング ・「多志向」：愛好者から競技者まで、レジャーからスポーツまで、多志向に対応している。 ○今後の展望、利活用等の提案 ・前述のとおり西日本でも貴重な施設であり、カーリングも含めて、広域的、大規模な大会、合宿等を誘致することで、流入人口、宿泊者の拡大、観光振興への寄与が図れる。 ・特に、夏季における「氷面」のニーズは全国的にも非常に高く、中四国地方で夏季営業しているアイススケート場（岡山、倉敷）には、中四国のみならず関西方面からも多数の愛好者や競技者が集まってきている。年少者も多いため保護者も同行し、早朝から深夜にかけての利用ニーズがある。 ・市内や近隣地域からの利用拡大に向け、利用者に子どもや学生が多いことも考慮し、バス等交通の利便性確保が望まれる。 ・同一地域内において、サッカー、スケート・カーリング、ゴルフが可能であり、また、近接地に水族館（アクアス）、海浜公園、温泉等があり、高速道のICが近いことも考慮し、広域的、複合的な利活用を工夫することで、人の集積を図ることができる。	現在の冷凍機では通年営業は困難です。 その他はご意見として承り、利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。

浜田市スポーツ施設再配置・整備計画(案)に係るパブリックコメント意見一覧

36	私どもはそう遠くないところに住んでいることもあり、現在もたびたび浜田に出向いている。今年の冬シーズンもほぼ毎週、子どもが浜田でスケート教室に参加している。 長く浜田に居住した者として、また、現在も浜田の施設を利用している者として、浜田市スポーツ施設再配置・整備計画（案）（以下「計画案」とする。）及び、その中で特にサンビレッジのアイススケート場についてコメントをさせていただきたく思う。 計画案の１ページに、「公共施設の１人あたりの延床面積は、全国平均と比較して過大な状態にあり(以下略）」との記載がある。その理由には、浜田市が、都市部に比べ居住地域が広範囲に及ぶ人口密度が低い中山間地域であり、また都市部に比べ公共交通機関が少ないことから、生活圏の中に施設がないと住民が利用しにくいという事情があるように思う。加えて、県西部の中心都市である浜田市には、浜田市だけではなく県西部全体の社会資源が数多く存在している等の事情も考慮すべきであろう。 浜田市はシングルマザーをサポートする施策を積極的に展開するなど子育て世代を迎え入れることを積極的に行っている。シングルマザーを含む子育て世代にとって、子どもの遊び場、経験の場の確保は大変重要な要素である。 高齢化が一層進み、高齢者および高齢者予備軍の健康増進の必要性は増すが、子どもの機会を減らすような施策は、より一層若年人口の流出を招き、高齢化率の上昇を加速させるのではないかと危惧する。子育てをする世代に魅力ある土地であることが、若年人口減少の歯止めのひとつになることは間違いないだろう。 子どもを含む若い世代は、身近なさまざまなことに興味を持ち、体験し、深めていく過程で多くのことを学び、地域を担う心豊かな大人へと成長していく。そのような観点から、施設の総数のある程度の圧縮は、維持管理のための市民の負担の面からやむを得ないことかと認識しているが、施設の種類はできるだけ多く確保して子供たちのチャレンジの機会を確保することをぜひ検討願いたい。 計画案２１ページには、基本方針（２）として「市民の多様なニーズに対応した施設」と記載されている。「高齢者をはじめとした」という記載があるが、将来を担う若い世代を対象から外すとは考えにくいことから、若い世代も当然のことながら対象になることと思う。仮に県西部唯一のアイススケート場であるサンビレッジのアイススケート場を閉鎖した場合には、「市民の多様なニーズに対応」という方針に反するのではないだろうか。加えていうならば、スケートというスポーツは、他のスポーツ同様マスターズが存在するスポーツで、浜田市総合振興計画や浜田市教育振興計画で振興対象となっている生涯スポーツのひとつである。そのような観点からスケートをとらえなおすこともできると考える。 サンビレッジのアイススケート場は、カーリングの大会が開催できる県内唯一の施設であり、県内外からカーリングチームが練習や大会に来ていると承知している。そのため、サンビレッジのアイススケート場が閉鎖されれば、島根県からカーリング場がなくなることになり、前述の基本方針（２）で掲げる「多様なニーズへの対応」と両立しない。 また、県東部のアイススケート場（湖遊館、浜田市役所から112km）、隣県のアイススケート場（広島ビックウェーブ、浜田市役所から 103km／下松健康パーク、浜田市役所から143km)ともに、継続して通うにはあまり離れている。以上のような現状から、サンビレッジのアイススケート場が他に代わりのない施設であるということができる。 県東部に比べ、県西部は、習い事などの民間の機関の数、種類が少ないとたびたび耳にしてきた。民間の機関が少ないのは採算がとりにくいという事情があると推察される。その差を公共の施設、機関等で完全に埋めることは難しいが、現在の施設の閉鎖はさらなる格差を生み、子育て世代からみた魅力が減ることになると感じている。 サンビレッジのアイススケート場に関しては、フロンの問題などもあり、施設改修維持管理にかなり高額な費用が掛かると承知している。現在の当該施設のフロンがどの世代のものであるか把握していないが、製造や消費が終了するフロンであるのならば、当面は再生フロンを調達したうえで、施設の維持を図ることをぜひ検討いただきたい。	P21の基本方針以降で示している内容は今後維持活用する施設についての方針を示しており、矛盾や整合性が取れてないとは考えていません。 その他はご意見として承り、利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。

浜田市スポーツ施設再配置・整備計画(案)に係るパブリックコメント意見一覧

	サンビレッジのアイススケート場の利用者が減少していることが、計画案１７ページに記載されているが、大幅に利用者数が減少している昨年度は、夏前に故障した施設の修理が、例年の営業開始時期である 10 月になっても始まらず、営業開始が 12 月後半までずれ込み、営業期間が例年の約半分に減少したことが主因であり、他の年度と単純に比較することはできない。その間に、スケート場が閉鎖となったとの憶測が広がり、さらに利用者が減少する結果となったようにも感じている。 利用者については、その数を増やすための工夫の余地がまだまだあると感じている。 サンビレッジ自体が公共交通ルートから離れていることが、集客の足かせになっていると感じている。たとえば市内外の高校生や大学生が友達と滑りに行こうと思っても、車がなければたどり着くのが大変である。バスのルートに組み込む、事前予約制で有料の送迎をするなどはできないだろうか。 また積極的に広報を行うことも、これまでほとんどされてこなかっただけに効果的ではないだろうか。何度も閉鎖方針の報道があったため、まだ営業しているのかとの問われることが多い。様々な媒体を通じて、まずアイススケート場営業中の周知を図ること、計画案２１ページにも記載があるが、一部の学校で行われているような「学校体育施設との連携」など、まだいくつも方策はあると考える。 様々な方策を駆使して、県西部唯一のアイススケート場をぜひ存続させてほしいと希望している。	
37	いつもはビックウェーブで練習していますが、閉館期間の半年は岡山です。しかし10月と４月は浜田のリンクを使わせていただいてました。 また、広島がイベントなどな場合もよく使わせていただいています。 岡山に行くより便利でスタッフの方々も練習に協力いただき大好きなリンクです。 是非存続して下さい。 宜しくお願い致します。	ご意見として承ります。 利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。
38	サンビレッジ浜田スケートリンクの存続を希望致します。 存続のために何か出来る事を考えてみて、近年アイススショーが人気を集めていて、浜田市の方も興味がある方が多く、よく問い合わせがあります。 広島ビッグウエーブでは1月にプリンスアイスショー、4月に浅田真央さんサンクスツアーが開催されチケットはなかなか手に入らない様です。 そのショーには市民に公募のスケート教室もあります。 またアウトレットの中のワンダーリンクでは定期的にフィギュアの選手の演技とフィギュアの見方の説明をさせて頂いています。 定期的にイベントを行うことで集客のお手伝いが出来ればと考えています	ご意見として承ります。 利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。
39	サンビレッジ浜田　スケートリンクについて 　この度の、サンビレッジ浜田スケートリンクの廃止案を知り、とても残念に思います。私の友人の子供たちがスケートをしているとき、とても生き生きと楽しみ、目が輝きに満ちていました。子供達はスケートを通して多くのことを学び成長したと思います。子供たちがこの土地で感じた喜びや感動、その経験が子供たちの大きな財産となり、地元で暮らしたい・都会に出た若者たちも地元に帰ってきたいという思いの一つになる。それは未来の浜田市の大きな財産につながると思います。 　浜田市の人口減少は大きな課題ですが、若い世代が魅力を感じる地元、そして人を呼び込む方法の一つとして、浜田市の特化した財産である希少なスケート場を活かし浜田市の土台を作ることも方法ではないでしょうか。 　スケート場の周知度アップ、利用者増については、例えば日本遺産である石見神楽とのタイアップ企画、学校での行事の一つに取り入れるなども。 　県・市・市民全体で知恵を出し合い、再度存続についてご検討いただきたいと思います。	ご意見として承ります。 利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。

浜田市スポーツ施設再配置・整備計画(案)に係るパブリックコメント意見一覧

40	浜田で生まれ育った僕は、保育園のときから園の行事として年に一度、小学校に上がってからも、同じように年に一度授業でサンビレッジ浜田のスケートリンクでのスケートを楽しんできました。それがきっかけで、小学校3年生の時から競技としてのフィギュアスケートに本格的に取り組み始め、小学校5年生、中学生の間は毎年、全国大会に出場しました。ここ数年、サンビレッジ浜田のスケートリンクが廃止になると新聞でみたり、噂もよく聞くようになり、浜田ではもうスケートを続けていけないかもしれないと考え、広島の高校へ進学しました。今は広島にアパートを借りて一人暮らしをしながら、今月出場するインターハイと国体に向けて練習を積んでいます。でも、できることなら、地元で仲間たちといっしょにスケートを続け、島根県代表として色々な大会に出たかったし、いつか浜田に戻ってきてもまたスケートを続けられるようにスケートリンクがずっとあってほしい、これが僕の率直な気持ちです。 今までたくさんサンビレッジのリンクを利用していて、日本各地のリンクでも合宿等での練習をしたことのある僕が意見を書くことで、少しでもサンビレッジ浜田のスケートリンクが続けられる方向に役立つかもしれないと思って、これを書いています。 中四国地方では、岡山県にたった2施設しか通年利用できるスケートリンクがありません。どちらも夏はとても混んでいて、よい練習をすることが難しいです。サンビレッジ浜田のリンクは、大きさが正規のリンクとは違っているので、大きな大会のためのプログラム練習をするには適していませんが、基礎の要素（スケーティングやジャンプ・スピンなど）の練習をするには十分な環境です。もし、１年中滑れるリンクとなったら、浜田市内だけではなく、島根県内、県外からも多くの選手が滑りにくると思います。今までも毎年、広島のビッグウェーブがオープンする前と閉まった後、サンビレッジ浜田のほうが早い時期から開いて遅くまでやっていたときには、広島からたくさんのフィギュア選手が一般営業中にも、貸切にも来て滑っていました。岡山に行くより移動時間が短くて楽なことと貸切の予約が取りやすいこと、リンクが岡山ほど混んでいないことが浜田のリンクの良さだと広島のスケートの先生や友達から聞きました。また、広島のビッグウェーブが開いている間でも、ビッグウェーブでは一般営業中には混んでいるとフィギュア選手の練習が禁止されるので、要素の練習ができる浜田のリンクに練習に来た広島の選手をよく見ました。今、僕も広島のリンクで練習できないときには、浜田に帰って滑ることもあります。フィギュア選手にとって練習できる場所に移動することは、大変ですが、よくあることです。それに、最近気づいたのですが、広島のビッグウェーブでみかけたカーリングの選手と実はサンビレッジ浜田でもよく出会っていました。カーリングの人もサンビレッジ浜田によく来ていたんだなとわかりました。サンビレッジ浜田のリンクが1年中開いていたら、広島などの県外のフィギュアスケートやカーリングの選手がもっとたくさん浜田に来るようになると思います。 だから、サンビレッジ浜田のスケートリンクをつぶさないで、1年中利用できるリンクに変えてほしいです。そうしたらスケート仲間から広まって、たくさんの人が浜田にスケートの合宿や練習をしに来ると思います。どのくらい選手たちが練習に来るのか、広島や岡山、山口のリンクに練習に来ている人たちにアンケートをとったら分かると思います。もし、それで本当に人がいっぱい滑りに来てくれることがわかったら、浜田のスケートリンクを廃止しないでください。お願いします。 地元浜田でまた仲間と一緒に楽しく滑れる日がくるといいなと思います。 だから、サンビレッジ浜田のスケートリンクをつぶさないで、1年中利用できるリンクに変えてほしいです。そうしたらスケート仲間から広まって、たくさんの人が浜田にスケートの合宿や練習をしに来ると思います。どのくらい選手たちが練習に来るのか、広島や岡山、山口のリンクに練習に来ている人たちにアンケートをとったら分かると思います。もし、それで本当に人がいっぱい滑りに来てくれることがわかったら、浜田のスケートリンクを廃止しないでください。お願いします。 地元浜田でまた仲間と一緒に楽しく滑れる日がくるといいなと思います。	現在の冷凍機では通年営業は困難です。 その他はご意見として承り、利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。

浜田市スポーツ施設再配置・整備計画(案)に係るパブリックコメント意見一覧

41	10年近くサンビレッジ浜田のリンクを利用者として見てきた立場で、この計画（案）で示された用途変更ではなく、存続させてさらに浜田市を盛り上げるように改善するための提案をいたします。 ご存知の通り、フィギュアスケートは近年かなり人気の高いスポーツであり、その練習や競技の場であるスケートリンクは、運営やメンテナンスに多額の費用がかかるにも関わらず、需要が高く、国内で昨年も新たなリンクがオープンし、今後もさらに建設が予定されているものもある状況です。また、カーリングは冬季オリンピックでも注目され、小学生から60歳以上まで幅広い年齢の選手で競技されているスポーツです。 サンビレッジ浜田は、長年営業してきたおかげで、スケートリンクとして広く周知されており、ここ数年はそれほどの広報をせずとも市外や県外のスケート・カーリング愛好者の皆さんの利用は絶えません。しかし、近年、冷凍機の故障や不具合を理由に、スケート可能期間は短縮し、オープン日の決定も遅く、周知されず、そんな中では広報も大々的にはできないということなのか、以前の指定管理者が行っていたようなチラシの折り込みや配布などの人を呼ぶための活動も見かけなくなりました。毎年、10月初旬には開き、11月からはスケート教室も始まり活気づいていたのが、年末からのオープンとなったりして、来場者数が減少するのは当然です。 時代の変遷による現冷却媒体の製造や使用の中止と冷凍機の経年劣化による故障とは別の問題です。市が国からスケート場を約610万円で購入したときから冷凍機の寿命や修理にかかる費用は把握できていたのではなかったのでしょうか。そして、建物の寿命まで継続運営していくつもりであるのなら、冷凍機の更新のための準備をする必要があったのではないでしょうか。もし、それができていなかったとしても、スケートリンクの需要から考えると、冷凍機の更新をして、やり方次第で十分に、設備投資に見合った浜田市への還元ができる施設であると考えます。 サンビレッジ浜田のスケートリンクの需要が最も高いのは、広島ビッグウェーブがオープンしていない期間です。例年、ビッグウェーブは10月の終わりから4月の初旬までスケート利用ができますので、それ以外の期間でサンビレッジ浜田のリンクが営業していることが重要です。できれば、通年営業することで、特にオフシーズン（夏季）の西日本全域からの競技関係者の練習の場所となることが見込まれ、夏休みは全国の大学のスケート部の合宿に利用される可能性が高いと考えます。浜田市に多くの方が、スケートリンクの利用のために訪れ、飲食をし、宿泊します。浜田道の利用もさらに増えるでしょう。これらは、ただの夢の話ではありませんが、大きな設備投資、費用がかかるため、浜田市にとってプラスになるという裏付けが必要です。具体的な提案①として、関係団体（フィギュアスケート、カーリング、ホッケー等）に5月～10月もスケート場を営業をした場合、サンビレッジ浜田のスケート場の利用希望の有無、利用希望期間（日数）、宿泊希望施設、利用人数、一日あたりの利用時間、行きたい周辺施設や場所、などについてのアンケート調査を、合宿利用の誘致の視点からも観光交流課、利用者団体と協力して行うことを求めます。浜田市が行っている合宿誘致の事業のアピールにもなり、利用増が見込まれます。 また、市外県外からの利用以外にも、浜田市民に有効活用されることが大切です。数年前までは、保育園や小学校、町内会、子供会などの地元の団体に利用される様子をよく見ておりました。団体で入られるみなさんの靴ひもを結んだりするボランティアとしてお手伝いをしたこともあります。そんな姿が、ここ数年少なくなり、残念に思っています。指定管理者の方針だと言われればそうですが、地元のみなさんにも楽しく活用していただけるような取り組みをもっとされたほうがよいと思いますし、地元に活用してもらえる活動はたくさん提案できます。指定管理者は利用者たちの声に耳を傾けてよいアイデアがあれば採用し実行することで、評判もよくなりリピート率も上がると思うのですが、残念ながらそういう機会がありません。 具体的な提案②として、スケート場の利用拡大やスケート場を活用した浜田市の活性化のためのアイデアを、指定管理者が募集し（用紙設置やホームページ等で）、利用者、市（教育委員会、観光交流課）と協力して、できることから実行する仕組みをつくることを提案します。今までも利用者としての提案をしてきたつもりでおりますが、実際に取り組んでくださるまでに至らず歯がゆい思いをしてきました。地元大会の開催や、一般客対象のお楽しみイベント、著名人を呼んでのアイスショーなど提案から実行までの道筋が欲しいのです。 以上、冷凍機の更新、通年営業への施設改善、各団体への利用意思調査、施設活用のアイデア募集についてご検討いただけますようお願いいたします。 市の考えをお聞かせください。	現在の冷凍機では通年営業は困難です。 その他はご意見として承り、利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。

浜田市スポーツ施設再配置・整備計画(案)に係るパブリックコメント意見一覧

42	サンビレッジ浜田通年営業化希望について 県内のフィギュアスケートのクラブの代表として意見させていただきます。 県内に通年リンクがなく選手は、夏は岡山まで片道3時間掛けて練習に通っています。浜田で通年の開業をしていただければ、夏休みは岡山にアパートを借りて練習しているのが浜田で出来れば、こちらとしても比較的安価になり、その分浜田に別の方向でお金を落とすことにもなるのではないでしょうか？また、夏は平日も学校が終わってから岡山まで練習に行きますが、貸切の時間の設定がないため浜田を利用することが出来ません。学校修了後、出雲からでも行けるような夜遅い時間の貸切があれば利用出来るのにといつも残念におもっています。 また夏の利用協も貸切しかなく、時間をかけて行ってもその時間しか練習出来ないとなれば、一日中練習が出来る一般のある岡山まで行くのが現状です。フィギュアスケートの選手は冬は大会が目白押しです。夏に練習をしたいのですがどうしても場所も時間も恵まれていないのが現状です。浜田で通年営業について考慮と聞いて意見させていただきました。よろしくお願いいたします。	現在の冷凍機では通年営業は困難です。 ご意見として承り、利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。
43	案１．施設の一部を民間へ貸し出すことで、費用負担を減らす ・民間の売店 ・民間のレジャー施設 ・１階を冷凍倉庫にして、２階をスケート、カーリング施設すると光熱費も合わせて減らすことができるのでは（車の流れを２つ確保する必要があると思います） 案２．浜田市の全スポーツ施設を利用してもらえるように総合宿泊所を設けて、そこから各スポーツ施設に移動できるようにする。 ・全国から、合宿や強化選手の練習場として提供する ・スケート場やカーリング場は通年を通して利用できることで、特に西日本を中心とした合宿や強化選手の練習場として提供する。以上に話題性があると思います。 ・東南アジアからの活用も考えると観光も合わせて活性化できるのではと思います。	提案された施設改修は困難であり、また現在の冷凍機では通年営業は困難です。
	日本カーリング協会では強化委員も務めて、日本のカーリングを強くしていこうという思いで毎年活動しています。今回、サンビレッジ浜田の活用方法について意見させていただきます。 カーリングという競技は今日ではようやく知名度も上がり、さまざまなメディアでとりあげていただけるようになりました。先の平昌オリンピックでは女子がメダルを取り、その後のもりあがりは数年前とは比べものにならないほどです。来年は横浜で全国大会が開催されることがきまり、首都圏での大会は久しぶりで、まだまだ盛り上がっていくことと思っています。 さて、カーリングも冬のスポーツですので、北海道や長野県のチームがトップチームに名をそろえています。過去のオリンピックチームをみても、その2県出身からのメンバーとなっています。なぜそのような偏りがあるのか、どちらの場所にもカーリングの専用リンクがあるというのがあります。 北海道のカーリングの発祥の地は常呂町というオホーツク海に面した田舎町です。産業も漁業くらいしかない、町のなかに1980年代当時コンビニもなかったほどです。そんな田舎町に1988年にはじめてカーリングの専用リンクが作られました。その後のカーリングの発展はこの地域からといっても過言ではありません。女子の銅メダルをとったチームもここの出身です。カーリングは冬のスポーツですが、室内スポーツなので氷があればできます。そして、カーリング専用というのが大事です。 こちらのサンビレッジ浜田も西日本の中ではだいぶ前からカーリングのできる場所として発展されて、カーリングのシートが常設している場所としては全国的にもめずらしい場所です。そんな建物がさまざまな事情により、閉鎖へと向かっていることを聞き及んでいます。閉鎖のあとは、多目的利用の場所として整備されるようにも聞きましたが、それで浜田市が発展していきますでしょうか。	

浜田市スポーツ施設再配置・整備計画(案)に係るパブリックコメント意見一覧

44	さきほどもいいましたが、常呂町はまるで田舎町です。そんな町に現在は2つ目のカーリング専用ホールができあがり、毎年北海道にかぎらす、韓国やロシアなどからも合宿等で来日され、それぞれの力を蓄えていっているような現状があります。活用されているからこその新たに建て替えられたという経緯もあります。 浜田市も似たような田舎町ですが、常呂町とちがうのは交通の便がかなりよいのです。都市部の広島からも近く、九州、関西からも鉄道等を使ってかなり地理的好立地にあります。また、韓国や中国からの便も米子空港を使って来県することも可能です。 ずばりいいますと、サンビレッジ浜田をカーリング専用のリンクにしていただきたいのです。 浜田市をカーリングを通じて国際都市にしていけないかということです。 西日本だけをみていたら、さほどのニーズは正直ないかもしれません。継続するだけのメリットもない気がします。目をアジアに向けてください。こんなにいい場所はないです。 現在カーリングの専用リンクは北海道では札幌・常呂町(現北見市)・名寄町・帯広市・稚内市・妹背牛町、長野県軽井沢町、山梨県、青森市。ほかには盛岡と新潟にありますが、専用ではありません。北海道や軽井沢はすでに利用者が飽和状態で、あらたな場所が求められています。 ぜひ浜田市にカーリング専用リンクをつくりませんか。 さきごろ島根県の知名度調査が発表されておりました。内容もみるかぎり、全体的な知名度の低さもさることながら、知っていることも出雲大社や石見銀山などの県東部にある名所ばかりでした。 浜田市になにを求めてきたらいいのでしょう。我々カーリングするものたちは毎年浜田に来ます。「サンビレッジ浜田」があるからです。ここから知名度を上げていくこともできるはずです。していきたいのです。サッカー場や多目的広場、公園、などなどとこれらもどこにでもあります。カーリング専用リンクは全国に10もありません。浜田市にできることがとても貴重なのです。 どうか、ぜひ前向きに考えていただき、この建物の価値を高めて、全国にかぎらず、アジアからまた世界へと浜田市の名を広めていきたいのです。どうぞよろしくお願いします。	ご意見として承ります。 利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。
45	サンビレッジ浜田（以降、当施設）というスケート場がオープンしたことと、当時西日本唯一のカーリングシートが常設されている施設として建設されたことが売りということでそのスケールの大きさに感動したことを今でも覚えています。 以来20数年が経ち、当施設では毎年西日本カーリング選手権が開催される重要な施設として利用され、あわせて西日本カーリング界の拠点としてオープン大会の開催、島根県カーリング協会主催の大会開催など数多く熱戦が行われる施設として定着してきました。 　現在、施設の老朽化が原因で当施設のスケート場としての運営廃止がとりあげられている中で、西日本カーリング関係者はもとより知人のフィギュアスケート関係者等から存続を願う声を多数伺っております。 廃止に係る懸念材料は重々承知の上ではございますが、当施設に関わってきたものして今後も変わらない施設の利用と若い利用者の可能性が続くことを期待しご意見させていただきます。	サンビレッジ浜田がカーリングの西日本エリアで重要な施設であることは認識しております。 その他はご意見として承り、利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。
46	サンビレッジ浜田屋内アイススケートリンクについて 　ここでは、クラブ等があり多くの友達や交流をしてきて、成長期の糧になっていたのではないかと思って成長を楽しみにして、いつも影ながら応援をしてきました。 　昨年からの説明会やいろいろな方々の意見や考えを聞く中で、この施設は子供たちにとって、ぜひ存続して続けてほしいと思うようになりました。理由は2つあります。 ① 子ども達はいろいろな将来の計画や夢をもって毎日生活し、学校へ通っていますが、例えば、将来スケートの選手になる目的や目標が身近に施設がなくなることによって選択肢が減り、影響が出るのではと心配しています。 ② 今の1つは、財政的な課題と問題です。経費削減が目的であれば、市民合意のない大型建設事業です。具体的には、歴史資料館なども考えるべきではないでしょうか。各種の無駄をあらためることに求めるべきではありませんか。	ご意見として承ります。 利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。

浜田市スポーツ施設再配置・整備計画(案)に係るパブリックコメント意見一覧

	浜田市スポーツ施設再配置・整備計画（案）について この浜田市スポーツ施設再配置・整備計画（案）はスポーツ推進審議会の審議結果をまとめた「答申」を重視して教育委員会が作成しています。この計画（案）作成の過程を含め、いくつかの問題点の指摘とそれの問題点をふまえた提案をしたいと思います。 答申を出したスポーツ推進審議会の5回にわたって公開で行われた会議の議事録を読むと、2回目（平成２８年１２月１２日）の会議で、大項目３つに沿って検討されており、1.が東公園（野球場、陸上競技場、テニス場、プール）について、2.はサンビレッジ浜田のスケート場とスポーツ広場（サッカー場）について、3.はそれ以外の各自治区のスポーツ施設についてでした。議事録によると、事務局（教育委員会）が各施設について資料に沿った説明をしていますが、サンビレッジの説明で「この施設については大きく２つにわけております。スケート場、もう一つはスポーツ広場。主にサッカー場で利用されております。ですのでスケート場とスポーツ広場というところで別々に結論のほうをお話致します。スケート場につきましては結論だけ申し上げますと、かかる経費・利用人数など費用対効果の観点から考えると厳しい判断を下さざるを得ない施設であるという風に考えております。（原文どおり）」と話しています。 ① 事務局が、これから審議すべきことについて現状の説明を超えて「どういう判断をするべきかの結論」を話すのはスポーツ施設の再配置・整備に関する諮問会議の進め方として不適切ではないでしょうか。 また今回の計画の基となるスポーツ推進審議会の資料や答申で何度も「費用対効果」という言葉が出てきます。令和元年12月18日に、スケート場の利用者を対象に行われたこの計画（案）の説明会での説明をうけて利用者が提出した質問書で、『浜田市スポーツ施設再配置・整備計画（案）ではサンビレッジのスケート場は「費用対効果を勘案し、大規模な改修はせず2022年度を目途に用途変更を行う。」とあるが費用対効果の「費用はいくらと見積もり」それに対する「どういう効果をどう測った」のか？全施設についてその費用対効果を測ったと考えられるので当時の資料をいただきたい。（原文通り）』や「費用対効果を測った計算式は答申資料１のどれにあたりますか？（原文通り）」との要望・質問に対し、「浜田市からの回答」として『費用対効果を測った計算式はありません、すべては「費用対効果の中で、近い将来に多額の経費を要すること、現状での指定管理費や修繕費などのかかる経費、そして開館20年以上を経過し、設置当初と社会状況等、大きく変化していること等からCとして評価されました。」』（『』内原文通り）と回答がありました。この浜田市の回答では、審議会において、「内容を説明できない事務局の言う費用対効果」に基づいて答申が作成された　と言っているようなもので、回答が本当なら言葉だけ使っているが費用対効果の算出という必要な作業を行っておらず問題がある評価・答申ということになりませんか。 ② 費用対効果を測る計算式は複数あって然るべきで、「費用対効果」と表現する以上、この費用の数値に対するこの項目の数値を比較したというものがあり、説明できなくてはいけないのではないでしょうか。そして本来「費用対効果の費用」は対象の全施設について建設時、取得時からの将来の解体処分までに要する工事費用、取得費用、指定管理料を含むランニングコスト等を積算して総利用期間で割ったものを用いるなどしないと、公平な比較ができないと考えます。スケート場は国からの取得にかかった費用は約610万円であり、取得に関しては他の施設に比べて浜田市の負担（費用）が高いとは思えません。やはり取得から耐用年数を経て解体するまでに浜田市が負担する総額に対し、運用期間を通じての収入や利用者数、広域利用による経済効果などを比べ、全施設を公平に議論・評価するべきではないでしょうか。	

浜田市スポーツ施設再配置・整備計画(案)に係るパブリックコメント意見一覧

47	スポーツ推進審議会の委員の構成は学識経験者2名、体育関係団体3名（陸上、野球、サッカー）、各自治区代表5名の合計10名でした。競技関係者が含まれていた野球場、陸上競技場（ともに東公園を含む）については多くの時間を使って、問題点や利用者の要望などが議論され、ていねいに審議されていますが、スケート場に関しては大項目２に含まれていても競技団体関係者は委員にいないため、「結論のほうをお話します」として説明された資料の文言がほぼそのまま答申になっています。 そして2回目の会議（平成28年12月12日）の議事録によると施設の評価を委員が行う表をみながら、委員から「他の地区や利用しない施設のランクづけは無理だ」「各施設の現場を見たほうが」「１回も行ったことないでしょ。実際に目で見てないとわかりません。」といった意見に対し事務局は「○○さんが言われたように、自分のところは分かるけども他のところは分からないってことが、当然あるとおもうので、わかるところだけ記載していただいて。（原文どおり）」「自分の思いがあるところに「これは入れて貰う」とか（原文通り）」と促しています。その結果10人で行われた評価のはずが、施設によって評価をつけた人数が５人～９人と大きく開きがあります。 ③ 施設によっては委員が訪れたことがない場合や普段利用しない場合、評価を受けられておらず、公平性の観点から問題があるやり方と言えます。 3回目（平成29年1月16日）の会議では、委員の皆さんが各施設を評価をした一覧表が資料として配られており、委員の方のつけた「最終評価」ABCDの数と「事務局案」としてABCDの評価が記載されています。この時点ではサンビレッジのスケート場の評価者数は6名で内訳はAが2名、Bが3名、Dが1名となっており、事務局案はB（現状維持）でした。これが答申では評価C（地域管理・用途変更）に変わった経緯を知りたくて、質問書で「費用対効果を㋺資料１の①～⑥で評価したとすればその費用対効果すべてがAとBで総合評価がCとなっているのはなぜですか？（ほかにそういう施設はありません）㋩スポーツ推進審議会の評価結果の集計（H29.1.16）ではスケート場は費用対効果（事務局案）もBとなっています。審議会の判定結果を教育委員会が「纏める（議事録より）」としている過程でBからCへ変わった理由を詳しく説明してください。（原文通り）」「答申の類似団体との比較でも、他の地方公共団体がスケート場の数０であってもその特殊性から適正数は１となっています。審議会を含めて答申を纏める段階で正しく評価検討されていない」という質問、指摘に対して「浜田市からの回答」では　「㋑㋺㋩　費用対効果を測った計算式はありません、すべては「費用対効果の中で、近い将来に多額の経費を要すること、現状での指定管理費や修繕費などのかかる経費、そして開館20年以上経過し、設置当初と社会状況等、大きく変化していること等からCとして評価されました。（原文通り）」というものでした。 しかし、この3回目の会議で資料として「スポーツ施設の適正な配置及び整備についてH29.1.16」「（表３）類似団体のスポーツ施設の現況」という２つの資料が配られています。このうち「（表３）類似団体のスポーツ施設の状況」は最終的に答申として出されている資料３と一見同じものですが、違う点があり、スケート場の適正数が０とされています。この日（平成29年1月16日）の議事録を見ると、類似団体と比較して適正数は０だから、この資料と「整合性を持たせる必要がある」と事務局が説明しています。それで評価はB（現状維持）からC（用途変更）へ変わったのだと、議事録と資料を一緒に見てわかりました。ではなぜ、答申として発表されたものはスケート場の適正数を１にしているのでしょうか。利用者からの質問書での「答申の類似団体との比較でも、他の地方公共団体がスケート場の数０であってもその特殊性から適正数は１となっています」という指摘に対しても、審議会でスケート場の適正数を０とした資料を配り、それに整合させなければならないと説明した経緯に関する回答はありませんでした。答申だけを見た場合、資料３にスケート場の適正数１とあるため、審議会として適正数は１なんだけれど「費用対効果の観点から考えると、廃止といった厳しい判断にならざるを得ない。（原文どおり）」という判断をしたものと受け取るのが自然ですが、「会議では適正数は０とした資料を委員に配布・説明しその指標へ整合性を求め、本来Bであるはずの評価をCに変え、作為的にその事実を隠そうと答申の資料３では適正数を１としたのではないか」と疑われてしまう可能性があると思います。 ④ 議事録によると、委員に配った資料でスケート場の適正数は０という指針を示し整合させる必要を説いているために評価がBからCに変わっており、評価変更の直接の原因となっている資料の数字（施設の適正数）を発表する答申で変更していることに非常に問題があり、そういった過程を知り得ない利用者からの「答申の資料３のスケート場の適正数1と施設評価をC用途変更としたことに矛盾があるとの指摘」があったときにも、経緯の説明が必要だったと思います。 審議会での資料での事務局の説明や、ほぼそのまま答申になっている説明には、スケート場を廃止した場合、用途変更としてゲートボールやグラウンドゴルフでの利用が考えられると示していますが、審議会の議事録に用途変更する場合に改修にかかる工事費（費用）や変更後の利用見込み人数（効果）について議論した様子はありません。 ⑤ このスポーツ施設再配置・整備計画案ではスケート場について費用対効果を理由に用途変更としながら、変更後の施設利用についての費用対効果を検証していないため、筋が通っていません。スケート場についての「用途変更、廃止ありき」で作られたと言われても仕方がなく、問題があります。市は冷凍機の更新について、令和元年に複数の市議会議員さんから情報で国の助成金（補助率10分の10を含む）が使える可能性を把握しており、議会でも補助率3分の2の助成金が活用できると答弁しています。費用対効果の費用が少なくなれば効果しか残りませんので、国の助成金についても市議会議員さんに協力してもらいながら情報収集と採択を受けられるように申請について検討するべきです。	スポーツ推進審議会の審議結果をまとめた「答申」についてはスポーツ推進審議会委員の総合的な判断で答申が作成されたものであり、尊重すべきことと判断しています。 また、その他はご意見として承ります。

	また、答申にはスケート場の利用者数について「県西部の人口規模で、現状1万人を確保していることは、指定管理者の努力によるものであるが、収支をまかなうだけの入館者の増は難しい現状である。（原文どおり）」とあります。 ⑥ 今回評価対象の全スポーツ施設について利用料収入で収支をまかなっている施設は無く、それどころかスケート場は36施設中で利用料収入1位、収入比率（利用料収入/指定管理料）1位であり、指定管理料に対する利用料収入という費用対効果は答申に反しどの施設より高いと言えます。オープン時に利用者数２万人で自主財源で運営できていたのであれば、多少乱暴かもしれませんが、利用者数が現在の２倍以上になれば自主財源で運営できる可能性があるということです。評価対象３６施設の収入比率で考えて、このような現在の２倍の利用者数になれば利用料収入で運営できる可能性のある施設はいくつもありません。利用者増の取組みを成功させることで、最も自主財源で運営できる可能性が高い（収益力の高い）施設とも言える訳です。現状の利用者数約1万人については、「安定した競技人口」と「施設の希少性による広域からの利用」によって支えられているものでもあり、答申で示された市民の利用割合が低い（約４０％）ということは、市外県外からスケート場を利用するために競技者なり一般利用の客なりがのべ6000人訪れていることを示しています。利用者数増に向けて、「利用者・市民からの提案について、利用者や観光交流課と協力して検討してくださる」と回答をいただいたところでもあります。市民の利用が少ないことをマイナス評価として捉えるのではなく、現状では増やす策を実行していないのですから案を募集してやれることに次々に取り組んで、浜田市の交流人口を増やすためにスケート場を使うべきだと思います。 スケート場は市外県外からの利用も多く、毎年行われているカーリングの西日本選手権大会をはじめとして交流人口の増大に資する可能性が最も高いスポーツ施設と言えます。このため、冷凍機を更新して出雲市と広島市のスケートリンクが営業しない５月から１０月にもサンビレッジ浜田のスケート場を営業した場合かなりの利用があると思われ、「利用者団体や観光交流課と協力して調査・検討するべきではないですか？」との質問に「検討します」と回答くださいました。過去６月まで専用利用を受け付けていた頃から利用実績のある関係団体や全国のスケート部のある大学やカーリング団体等を対象に、夏季営業した場合に利用の希望、周辺施設の利用希望、宿泊予定先、利用期間、人数、その他必要と思われる事項などを入れてアンケート調査を行うことで、実需要（効果）を知ることができ、費用についても見積もる必要があることから、更新した場合の年間のランニングコストについて知りたいと思い質問書で『「冷凍機を更新した場合のランニングコストについて年間の概算ではありますが試算をしております。」と回答下さっています。行った試算内容を根拠を含めておしえてください。』と送ったところ、「浜田市からの回答」として「内部資料のため提示しません。」とのことでした。 ⑦ 内部資料だからと断るのではなく、概算の試算で構いませんので教えていただけないでしょうか。もしかしたら教育委員会とは違った視点で市民や利用者の考えが役立つこともあると考えます。 この計画（案）の中で（22頁）３再配置・整備方針が示されています。説明会でも利用者から意見や質問がありましたが、記録によると「拠点施設とは市、県大会等の会場として利用されていることや当該スポーツの主要施設として、優先的に改修を行う必要があることと「定義」されており、スケート場はオリンピック競技の西日本大会が毎年行われていることから拠点施設分類されなければならない。なぜ分類すらされていないのか？廃止ありきの計画ではないのか」との質問に対し、事務局は「ありきと言われればありきだが、スタートの答申が廃止になっていますので」と回答しています。 ⑧ すべての施設を区分の定義に照らして分類評価すべきなのに、スケート場についてのみ区分を行っておらず問題があります。定義に照らして区分し、拠点施設を優先的に改修を行う必要があるのではないですか？ ⑨ 以上の理由から、スケート場に限って言えば、答申、計画の作成過程に問題があるため、スケート場の部分について計画の見直し・変更が必要だと考えます。以上の指摘に沿って、答申作成の過程（議事録や配布資料）を検証しても、評価の変更や見直しが必要ないとする場合、各項目について市民や利用者が納得する合理的な説明をする必要があります。 以上①～⑨の意見について市の考え方をわかりやすく示していただけるとありがたく存じます。 よろしくお願い申し上げます。	

浜田市スポーツ施設再配置・整備計画(案)に係るパブリックコメント意見一覧

48	サンビレッジ浜田、スケートリンク存続のお願い 　遊びながら楽しくいつの間にか本格的に初めて、毎日の様に練習に通っていたお陰で、今は大学のスケート部で活動しています。フィギュアスケートはお金がかかるイメージですが、始めた頃は年間パスポートがあったので他の習い事と変わらなかったと母から聞きました。ボランティアの方がとても良くしてくださったり、本当にサンビレッジに育ててもらったと言っても過言ではないと思っています。そのリンクが廃止になろうとしていると聞いてコメントを書こうと思いました。 東京のリンクは私の知っている限りでは3つですが、どこも利用者が多くクラブ所属での貸し切りでないとまともな練習はし辛い状況です。貸し切り代も1時間あたり平均約3万円と高価です。帰省した時にサンビレッジで練習していますが、サンビレッジは観光も兼ねて冬・春休みに合宿をするには良い所だと思います。都会の人から見ると、温泉が近くにあり、きれいな海が見え、おいしい魚が食べられるところと言うだけでも魅力があるそうですので友人達はとても乗り気です。そして東京に出て驚いたのは、島根県にスケートリンクがあることを殆どの人が知らないことです。都会の人は少しでも良い環境で練習出来る場所を探しています。金銭的余裕もある人が多いです。リンクを探して沖縄や北海道に行く人も少なくありません。おそらく宣伝の仕方によってはかなりの集客が見込めると思います。また通年利用が出来るようになれば、１時間当たりの貸し切り利用料が高価でも利用団体は全国から見込めると思います。それなのに何故廃止にしようとしているのか勿体ないことだと思います。九州ではまた新しいリンクを作ると聞いています。一から施設を作るのは非常に大変なことだと思います。何か意味があって作る事になるのだと思います。せっかくある貴重な施設を廃止しようとする前に、もっと広い視野でサンビレッジの存在意義を考えて欲しいと思います。やるべき事はまだたくさんあります。これからリンクに恩返しができると思っていたのにその前になくなるかもしれないことは本当に残念でなりません。私自身スケート界での生活も長いので著明な知り合いも増えてきました。交友を活かしてちょっとしたアイスショーのようなものも行えるとも思っています。期間限定の教室なども行っていけるとも思っています。 今でも、私が所属していたスケートクラブで頑張っている子供達がいます。みんないろんな夢を持って本当に頑張って練習しています。サンビレッジが存続するのであれば部員も増えていくと思いますしもっともっと盛り上げていけるのではないしょうか。浜田市にこのような施設があることは、子供達が『スケートに興味を持つ』『スケートと触れ合う』という機会があるということです。私は、それは素晴らしい事だと思います。	ご意見として承ります。 利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。
	サンビレッジ浜田アイススケート場の存続が難しい理由は大きく2つあると聞いている。一つは利用者数の少なさ。もう一つは、機器の老朽化および、フロンガス排出抑制法による機器の使用についての問題。 ①利用者数について(H29年～は閉館する（した）とのうわさより利用者が減少した。そのためH28年度データで比較を行った) 利用者数はH28年度11,498人/年であった。この数字はアイスリンクが開場している11-5月初のおよそ6ヶ月間の数字であり、ひと月単位の利用者数でいえばおよそ2,000人/月の利用者があった計算となる。この数字は他運動施設と比較しても決して少ない数ではない。浜田市全体のスポーツ施設の利用者数(１ヶ月あたり)でいえば、７番目/３６施設中に多いことを示している。 サンビレッジ浜田アイスリンクの利用者数は取り組み次第でさらに増やすことは可能であると考える。 a.市民利用促進：立地が悪く、自家用車でしかアクセス方法がないことが利用しづらさの大きな理由の一つである。これは、土日祝は1日1-2便、浜田駅からの送迎マイクロ・タクシーなど(有料：200-300円/人)を運行することで解決できる。そうすれば、小学生・中学生・高校生・大学生の利用は、さらに増えると予想される。浜田市は、子供達(学生)が安心して健全に余暇を過ごす場所がない。サンビレッジ浜田アイスリンクは、健全な子供達の居場所にもなると考える。 b.県外利用促進：浜田市全体のスポーツ施設の中でサンビレッジ浜田アイスリンクスケート場は他施設にない側面を持っている。それは、レジャー施設としての側面である。言い方をかえれば、唯一、浜田市にお金を届けてくれる運動施設である。	

浜田市スポーツ施設再配置・整備計画(案)に係るパブリックコメント意見一覧

49	幸いにも、サンビレッジ浜田アイスリンクは、高速道路インター～アクアス・島根県立石見海浜公園の途中に位置している。言い方をかえれば、目の前の道路をお金を使う気持ちのある県外の観光客がたくさん通過しているのだ。 アクアスや、島根県立石見海浜公園と協力し、日帰りではなく、1泊2日のレジャープランやクーポンで他県の利用者を呼び込むなど取り組みしてみるとよい。 浜田市スポーツ施設再配置・整備計画にも述べられているように少子高齢化が進んでいる。浜田市は全国の10年先を歩んでいるともいわれている。浜田市は今後、さらに生産年齢人口が減少する。それは税収入の減少を示唆している。市政運営のコストカットの取り組みは必須であるが、それを同じように、わすれてはならないのが外貨(ここでは他県からのお金の意)の獲得である。税収以外のお金の獲得は急務案件ではないか。 c.オフシーズンの活用 それらの方法で冬季の利用者数が増えたとしても、5-10月のオフシーズンのロスが問題として残る。（通年営業できれば、他県のスケーターが押し寄せ利用者数は信じられないほど増えるだろうが、現在の設備では真夏はむずかしい。断熱工事を加えるとなるとさらにコストがかかってしまうのでその案は横に置いておく） 上でも述べたように、サンビレッジ浜田は、アクアス・島根県石見海浜公園の道中に位置している。この施設の利用者が多いのは春～夏である。この期間、サンビレッジを利用してもらうプランが必要である。 最近、グランピングが注目されているのをご存じだろうか。7-9月のオフシーズンにアイスリンク・駐車場をグランピング施設に活用してはどうだろうか。アクアスの帰りに手ぶらで屋内外のキャンプを楽しむ。夕食には浜田港でとれた魚介類をバーベキューに届ける。入浴は、近隣温泉を利用し、夜は、満点の星空をたのしむ。なんていうプランを提案をしてみるのもよいと思う。 そのグランピング設備は災害時の住居としても利用できる。災害に備えつつ、それを活用しお金を作り出す。冬季は防災備蓄倉庫等で保管しておく。 ②機器の購入 現在、サンビレッジ浜田アイスリンクの機器はフロンガス排出抑制法により新しい機器への更新が必要である。それには、多額の資金が必要になる。 製氷機器の購入資金調達の問題は大きい。 クラウドファンディング・ふるさと納税等でお金を集めるのと同時に、島根県、江津市、益田市、日本スケート連盟、日本カーリング協会にもその資金の一部を負担するよう交渉を行う。もちろん、浜田市民からも寄付を募る。 サンビレッジオーナークラブのような制度を作って資金を調達するのもおもしろい。(個人的にはそんな制度があれば投資してみたい) 浜田市スポーツ施設再配置・整備計画によるとサンビレッジ浜田アイスリンクを廃止する場合その後は多目的屋内広場となる予定である。現在のアイスリンクを多目的広場に転換する場合その費用はどのくらいかかる予定になっているのだろうか。そして、多目的屋内広場に転用した場合、管理費はどのくらいかかり、どのくらいの人がその場所を利用し、そしてどのくらいのお金を生み出すのか。外貨獲得につながる施設なのか。超少子化超高齢化社会を迎え、生産年齢人口が減る中で、その多目的屋内広場に転用する政策は正しいのだろうか？疑問が残る。20年後の浜田市にとって、費用対効果が高いのはどちらの案なのだろうか。 サンビレッジ浜田アイススケート場は島根県西部地方唯一のスケート場である。 一度、廃止してしまえば今後浜田市にスケートリンクが再度オープンすることはない。アイスリンクをこのまま廃止してしまっていいのだろうか。 浜田市はなにもない。でもいまはまだ、アイスリンクはある。 アイデア×サンビレッジ浜田アイスリンク＝将来への大きな可能性 サンビレッジ浜田アイスリンクの存続をお願いします。	ご意見として承ります。 利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。
50	新聞等で「廃止決定」の話しを聞きましたが、存続していただくようお願いいたします。 　島根・鳥取のスケート競技人口は少ないですが、その中でも頑張って練習しています。湖遊館が閉館しているときは、浜田のリンクで合宿をしたり、県外へ練習に出かけることになります。 　そして、西日本ではカーリングができるリンクとして多くの方が、利用しておられると思います。 　今後、どうしたら存続していけるのか活用方法など今一度検討していただき、存続していただきたいです。宜しくお願いいたします。	ご意見として承ります。 利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは。用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。

	子供が在籍していたスケートクラブの選手の成長を楽しみに及ばずながら携わっています。そのリンクが廃止の方向と聞いて、市長には存続の方向性を考えていただけないかと思い一筆添えさせていただきます。 まず、なぜ廃止しようとしているのかという案件ですが、下記２件の私ながらの考えを提案させていただきます。 １． 利用者激減 ２． 設備の老朽化に伴う膨大な設備管理費（１億６千万円とうかがっております） 上記が理由であるなら、それについては申し上げたい事が多々あります。 １．の利用者激減についてですが、永年に渡り様々な取組をされてはいました。無料貸靴券、無料滑走券を配布するなど館長さんも大変な思いをされていました。それだけでは難しく、存続性があるとは思えませんでした。私の考える利用者を増やすために今必要な事は ①営業時間（例）平日11：00-19：00、金11：00-20：00、土9：00-20：00、日9：00-19：00は極力変えない 一番利用者が多かった時期はこの時間設定だったと思います。しかし専用利用を一般営業時間内に入れたり、開館・閉館時間を急に変更した事がよくあったため、夕方仕事帰りの方や学校が終わってから来た子供などが滑りに来たのに閉まっている、若しくは貸切で滑れなくて帰って行ったり、日曜日9：00に来たのに開いていなかったなど多くの声を聞いてきました。理由はどうであれ、一度信用を失うと人は離れていってしまうものです。「どうせ行っても開いていない」と何人もの人が言っておられました。 ②帰省客が多い年末年始・ゴールデンウイーク等は必ず営業する 年末年始の盛況な光景は、リンクの運営がうまくいっているのかと思うと安心していました。一番集客できる時期に営業しないなど考えられません。職員さんが休みたいのもわかりますが、利用者を増やすのが目的であるなら営業するべきだと思います。 ③お客さんへ安全に滑るための説明や注意事項を明確にする お客さんも多ければ多いほどリンク側が丁寧な説明をしないと苦情に繋がったり安全面でも影響が出てくると思われます。一般のお客さんは左回りで外周を滑ってもらい、選手は中心の方でスピンやジャンプなど安全に気を付けて練習してもらうなどリンク側が案内するべきだと思われます。危険だと思えばお客さんに注意喚起も必要だと思います。他のリンクに比べてお客さんが野放し状態でとても危険であると、もう何年も思っておりました、私自身が注意した事もあります。実際に接触転倒怪我などもたくさん見てきました。	

51	④利用団体に制限を作らない 現在は存じておりませんが、中途でアイスホッケーの利用が禁止になっていました。アイスホッケー団体は以前は専用利用をたくさん取っておられましたので、以降利用者数は確実に減っていると思います。アイスホッケーの利用を禁止した経緯は、備品を壊して申し出がないなどリンク側に損害を与えたからだと記憶していますが、これもリンク側が専用利用前後に備品の確認をするなど管理をしていれば弁償をしていただくなどできたと思います。 上記４点はとても基本的な事でありますし、どこの施設も管理をきちんとしている上で多くの人に利用してもらえるような工夫をされています。管理する方がスケートリンクや一般客、選手の事をとてもよく理解されていたように思います。他の施設に出向いて勉強し研修されたという話も聞きました。サンビレッジの運営もそのようにすれば良くなっていくのではないかと思い、何度も当時の指定管理者に上記４点も含めて助言はさせていただきましたが反映はされませんでした。やはり、管理はスケートがわかる人でないと無理かと思いました。私達スケート関係者で団体を立ち上げ指定管理者として運営させていただきたいくらいです。 ⑤イベント企画・宣伝・広告の工夫 ここからは上記の事（リンクの管理）がきちんとできている前提での事です。いくら宣伝しても、来られたお客さんががっかりされるような運営では次に繋がりません。宣伝広告にお金がかけられないのも存じています。お金をかけなくてもできるものはあると思います。浜田市だけではなく江津市の広報掲載、Facebook なども使えるツールかと思います。 ホームページは既にあるので、内容の見直しは必要かもしれませんがそこはおいておきます。一番効果的なのはフィギュアスケートに関しては口コミだと思います。選手や保護者同士での話に他県のリンク情報は必ず上がってきます。噂を聞いてすぐに行ってみる方も少なくないのです。きちんとした運営がされていればいくらでも良い噂が広まると思います。 また、イベントのアイデアだけなら今までも何度も提案してきましたが、何が問題だったかもわからず結局は形になりませんでした。「勝手にやるならどうぞ」と言われているように感じました。幸い長くフィギュアスケートに携わっている分、著名な選手・元選手に声がかけられます。無料とは言えませんがリンクに来ていただく事が可能ではないかと思います。演技をしていただいたり、スケート教室をしていただく事も出来ると思います。また、昨年は開催されませんでしたが、今までサンビレッジ杯というフィギュアスケートの大会も行われていました。かなりの人数が集まっていたと思いますし、県外から来られた方も多かったので宿泊も必要でしたし、浜田市にはかなりお金を落とされていると思います。近隣にお店も少ないので、屋台を出すなどすればもっともっと賑やかに盛り上がったと思います。浜田市は宿泊施設も充実してきており、温泉もあり、お魚も美味しく、来られた方はとても満足されていました。浜田市としても「スケートリンクがある市」としてもっとPRできると思います。	ご意見として承ります。 利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。

	⑤通年利用 これも長年訴えている事ですが、通年でスケートリンクを営業すると利用客も増え収益も上がると思います。中国地方は通年のリンクが岡山県に２つあります。最近できた広島県のリンクも一応通年ではありますが小さく、子供の遊び場程度ですがクラブの子供たちは夏に練習に行っていました。そのような中でサンビレッジが夏場の利用が可能になると間違いなく出雲市・広島県・山口県からの利用者が増えると思います。また夏休みには県外から大学生の合宿など夏場の練習場所を求めている団体は数多くあります。フィギュア以外の団体もあるので、私が思うよりもっと利用者は多くなるのだと思います。岡山県のリンクは午前２時や午前３時からなど条件の悪い時間帯にしか専用利用枠が空いていない事、全く取れない事も多々あります。一般のお客さんも、暑いときに涼しいところに行きたいと思うので、開いていれば夏休みで帰省中のお客さんも見込めます。しかし、夏場の営業は冷凍機を酷使することになったり、コスト的にも問題があると思います。しかし、１時間当たりの専用利用費を精査して金額設定や利用方法考えればその問題は解決すると思います。 ２．設備の老朽化に伴う膨大な設備管理費等（１億６千万円） 施設を作った時からこのくらいの金額設定が浜田市でもわかっていた事だと思いますが、なぜその為に減価償却費を計上していないのかが全く理解できません。指定管理に運営を任せるのは良いですが、その辺りはどのような取り決めになっていたのでしょうか。市民の税金を使うのであれば綿密な計画があって然りだと思うのですが。また冷凍機等設備購入の際は申請すれば国からの補助金・助成金が出ると聞きました。負担金は７千万円くらいですむとも聞きました。それならば今後は営業利益の中から減価償却金の計上ができるのではないかと思います。 浜田市教育委員会は過去に指定管理者からの相談や質問にも真摯に取り合わなかったと聞いています。私たちも、以前浜田市教育委員会に当時のクラブ代表者が電話で質問をさせていただきましたが、態度も悪く質問にも答えてくれなかったと聞いています。その様な苦情もどこに上げたらいいのか当時はわからなかったので泣き寝入りでした。今後その様なことがないように願います。 時間がなかっ為に大まかな提案しか申し上げられませんでしたが、今後は、先ず老朽化した設備の立て直しを考えていただいて、上記に述べたように運営努力をすればリンクだけではなく浜田市全体の活性化につながる施設になると思いますので、是非ご検討のほど宜しくお願い申し上げます。また必要であれば詳しい数字も出せますし、私達スケート関係者団体で指定管理者として運営させていただける可能性があるのかも含めお返事いただきたいと思います。	
52	[サンビレッジ浜田スケートリンクについて] この度、サンビレッジ浜田のスケートリンクが、22 年度廃止方針となってい るということを知り、とても残念に思います。 私が幼かった とき頃には浜田にはスケートリンクはなく、近くにこのような施設があること が、とても有り難かったです。浜田市には他にも、アクアスや子ども美術館、 海水浴場など、子どもが楽しく過ごせる場所がたくさんあり、浜田市民として とても誇りに思います。私の 3 人の子どもも、数年間、サンビレッジでスケー ト教室やスケートクラブのレッスンなどを通して、とても貴重な経験をさせて いただきました。そこで、たくさんの人と関わったり、体力も随分つきました。 また、コツコツと練習することの大切さ、努力して上達していく喜びなど、た くさんの学びがあり、子どもにとって大きな自信となりました。 このような素晴らしい施設を、廃止してしまうのはあまりにも残念で、子ど もの大切な成長の場を奪ってしまうと危惧しています。存続していくには大き な費用もかかってしまうとは思いますが、他のスケートリンクがどのようにや りくりしているのか知り、利用する私たちにもできることを考えていくこと で、前向きに存続について検討していただきたいと思います。	ご意見として承ります。 利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。

浜田市スポーツ施設再配置・整備計画(案)に係るパブリックコメント意見一覧

53	サン・ビレッジ浜田 スケートリンクについて 県西部唯一の施設である、スケートリンクは、浜田市の財産であると考えま す。 昨今のアイススポーツブーム（フィギュアスケート、カーリング、スピード スケートなど）を考えても、全国的にも数少ないスケートリンクを有するとい うことは、多大な意味があると思います。 現在、サン・ビレッジスケート教室の卒業生には、全国中学校スケート大会 や全国高等学校総合体育大会（インターハイ）、全日本フィギュアスケートジュ ニア選手権などに出場している方々もおられます。 それに、カーリングの西日本大会などもサン・ビレッジで行われています。 そんな、全国レベルで活躍される方々に利用してもらっているサン・ビレッ ジのスケート場をつぶすなど、宝を捨てるようなものです。 昨今の人口減少により、利用者数が少なくなったとの声も聞かれますが、全 く宣伝をしないで、人が来るとは思えません。 努力をしないで、人が来ないからつぶすなど、言語道断だと思います。 まずは、広報活動や営業努力をして利用客を増やすほうが、先だと思います。 たとえば、 ・通年利用ができるリンクにする。通年リンクの需要は高く県内外からかなり の利用者が増えると思われます。 ・バスを通す。今リンクに行ける最寄りのバス停は 9 号線の国分寺というバス 停ですが、ここからリンクまでは、上り坂を 20～30 分歩かないといけません。 車などの交通手段を持たない人たちから、バス停が近ければ、もっとたくさん行きたいということをよく聞きます。 ・学校などでスケート教室を開催する。現在、市内の学校でスキー教室をされ ている学校もありますが、最近の雪不足により中止を余儀なくされていると聞 いています。スケート教室ならば、ほとんど天候に左右されることなくできる と思います。スケート教室で滑れるようになれば、スケートの楽しさもわかり、 スケート場に足を運ぶ回数も増えると思います。 ・イベントの開催。昨日サン・ビレッジでサン・ビレッジフェスタ on ICE とい うイベントがありました。その中で、スケート教室みたいなものがあったのですが、そのイベントに参加したお子さんが楽しかったからまた行きたいと、翌 週に滑りに行かれたという話も聞きました。カーリング体験も盛況だったと思 います。このようにスケートの楽しさを知れば、リピーターも増えると思いま す。 現在サン・ビレッジではスケートに行きたいけど、スケート場が開いている かもわからないという方が多数いらっしゃるという状態です。 オープンの日やイベントの開催などの広報活動を行うことで、利用者は確実 に増えると思われます。 このような状況から、スケートリンクの存続は必要不可欠だと思います。 スケート場の用途変更について、再考をお願いします。	現在の冷凍機では通年営業は困難です。 また、その他はご意見として承り、利用者数が急激に増え、増えた利用者数が継続的に見込まれる場合いは、用途変更としている計画の見直しを検討する旨を追記いたします。
54	１． 意見対象箇所 1 2　スポーツ施設の状況 2 第 3 章　施設再配置・整備の基本方針 ２． 意見 1 本件の整備計画（案）に関する資料には、各施設の利用者数は示されているものの、費用対効果を示す客観的・具体的な数値（または推計値等）がありません。今後20年間の再配置・整備方針概要を示し、市民からパブリックコメントを募集する以上、少なくとも過去数年の当該施設の整備状況や要した経費、できれば今後必要となる整備費や維持管理費に関する数値資料も示し、浜田市民として判断可能な資料とすべきと考えます。 2 急速に進む少子高齢化や自主財源の先細りなども踏まえ、大規模施設の整備・維持管理を優先することには疑問が残ります。一方、多くの市民が周年、体力・健康の増進やスポーツ競技能力の維持・向上を図っていくことは極めて重要です。特に、体育館等の屋内施設の維持や全天候型の人工芝施設化については積極的に推進すべきと考えます。このため、利用度の向上を目的とした多目的施設への転換を行い、施設の統廃合によるコスト削減の考え方も重要と考えます。例えば、平成29年の答申では、東公園のテニスコート駐車場に転用等の評価Ｃとしています。当該施設の単独使用という考え方に捉われることなく、隣接する多目的広場での高齢者による競技場やフットサルコート等としての併用（人工芝化で可能：金城のテニスコートの例）など、複合機能施設への転換による施設の有効利用（利用度の向上）を図ることも重要であり、より柔軟な発想の下での施設整備についても進めていくべきと考えます。	ご意見として承ります。
55	浜田東エリアの施設は、市中心部に立地していることで、利便性に優れていると高評価されているが、浜田自治区以外は不便と捉えられる。 高速道路があり、バイパスも整備されつつあり、浜田市内も浜田市外からの便もよくなってきた現在、交通に関しては各自治区共問題はないと思う。 浜田東エリアの施設は、「地盤沈下」の問題があり、駐車場も少なく、改修か移転の必要性を感じるが、三隅の陸上競技場や、旭の野球場、三隅や金城のテニス場を活用してはどうかと思う。 一か所に集中するのではなく、合併の利点を生かして各自治区の施設を有効活用すれば、それぞれの自治区の寂れ感が和らぐ。	検討した結果、本計画となっております。
56	高齢者の多い浜田では、寝たきりの人を作らない生涯現後ピンピンコロリを目指すためにも日々の健康づくりの拠点は地域の中で行うことが基本であると思います。公民館単位の充実も欲しいです。又、類似施設の統廃合、そして再配置を進めるのであれば現在ある施設の検証をしっかりしてなるべく費用を抑えてのより高い効果が必要だと思います。浜田・三隅・弥栄・金城・旭町の5地区に各々、専門性を持たせた再配置することによって、市民の交流の場所ともなり、浜田全体がワンチームとしてまとまっていくのではないかと思います。専門性をもたせることにより、国体等の大規模な大会も誘致できるのではないかと思います。	ご意見として承ります。